

目次

1. 工作機械統計・産業動向

- ◆米国工作機械受注統計(5月) 1
- ◆台湾工作機械輸出入統計(2020年1~4月) ... 2
- ◆米国工作機械受注統計(地域別) 2
- ◆ドイツ工作機械主要統計(2020年第1四半期) ... 3
- ◆ドイツ工作機械生産統計(2019年) 4
- ◆ドイツ工作機械貿易統計(2020年第1四半期) ... 4
- ◆韓国工作機械主要統計(2020年4月) 6

2. 主要国・地域経済動向

- ◆米国:PMI 52.6%(6月) 8
- ◆IMTS Sparkについて 9
- ◆5月独製造業受注10%増加、自動車は上げ幅44%に 9
- ◆欧州:EU主要国製造業景気動向指数(D.I.)と資本財生産月次推移(6月) 10
- ◆EU工作機械産業、2020年の減少を予測 10
- ◆IMTEX 2021会期延期 11
- ◆インドPMI、6月改善 11
- ◆メキシコ製造業最新動向 11
- ◆ブラジル製造業最新動向 12
- ◆中国製造業PMI 50.9%(6月) 12

3. 工作機械関連企業動向

- ◆Hurco社、会計2020年度第2四半期業績 13
- ◆Mikron社、ベルリンとリトアニア子会社を売却 14

4. その他

- ◆ユーザー関連トピックス 14

5. 日工会外需状況(6月) 31

1. 工作機械統計・産業動向

◆米国工作機械受注統計(5月)

AMT(米国製造技術工業協会)発表の受注統計(US-MTO)によると、2020年5月の米国切削型工作機械受注は、2億1,266万ドルで前月比5.5%減、前年同月比42.3%減となった。

AMTのDouglas Woods専務理事は、「2020年前半の工作機械部門の成長は横ばいになると予測していた。しかし、世界的な製造業界へのパンデミックの影響により、約30%減少している。航空宇宙、防衛、住宅、インフラの各セクターは5月は好調だったが、この傾向は業界間で様ではない。自動車部門は落ち込んでおり、医薬品への支出は横ばいになっている。重要なこととして、景況感および消費者の貯蓄率が非常に高いことは、経済に対する信頼の欠如を示しており、業界の経済予測では、製造業が今年の第4四半期もしくは2021年初頭に回復する前に約50%減少すると予測している。」と述べた。

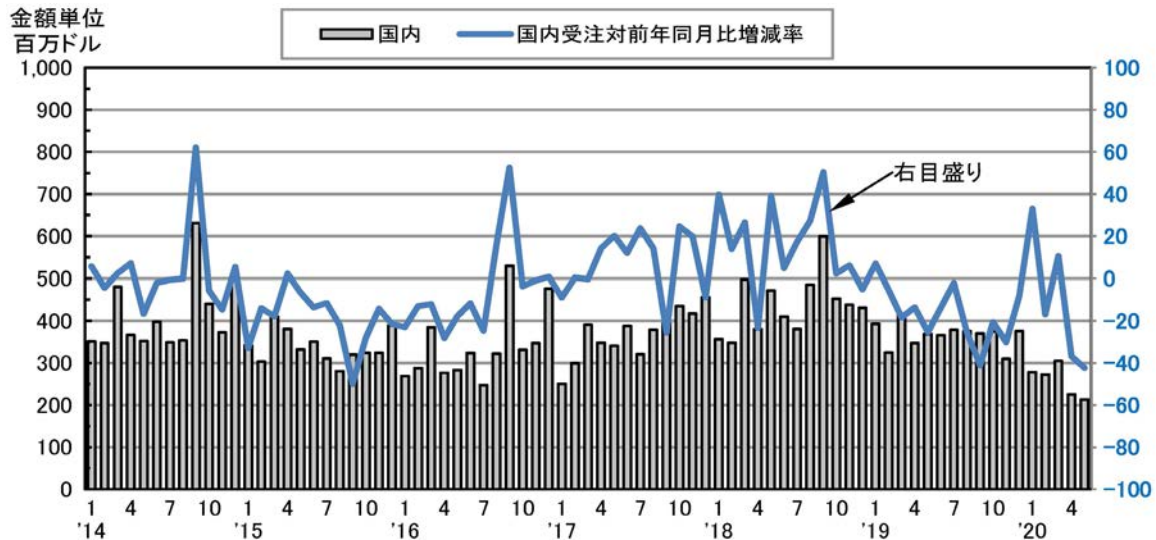
(USMTO レポート 2020年7月13日付)

米国工作機械(切削型)受注統計

(金額単位:千ドル)

年 月	受 注	
	台 数	金 額
2019年1月	2,267	392,863
2月	1,944	324,827
3月	2,401	415,996
4月	2,139	347,021
5月	2,053	368,635
6月	2,210	365,825
7月	2,005	378,346
8月	2,076	375,354
9月	2,128	369,741
10月	1,969	375,130
11月	1,887	309,755
12月	2,219	375,526
2019年累計	25,298	4,399,019
2020年1月	1,632	277,960
2月	1,568	272,404
3月	1,670	304,932
4月	1,427	225,046
5月	1,507	212,664
2020年累計	7,804	1,293,006

工作機械受注の月次推移(米国)



◆米国工作機械受注統計(地域別)

(単位：百万ドル)

地 域 別	2020年5月 (P)	2020年4月	前月比 (%)	前年同月	前年同月比 (%)	2020年累計 (P)	2019年累計 (R)	前年同期比 (%)
全 米								
切 削 型	212.66	225.05	-5.5	368.63	-42.3	1,293.01	1,850.41	-30.1
成 形 型	6.78	6.70	1.1	26.48	-74.4	31.64	73.25	-56.8
計	219.44	231.75	-5.3	395.11	-44.5	1,324.64	1,923.67	-31.1
北 東 部								
切 削 型	34.48	61.25	-43.7	58.05	-40.6	233.19	332.64	-29.9
成 形 型	0.29	3.77	-92.4	D	D	8.20	D	D
計	34.77	65.02	-46.5	D	D	241.39	D	D
南 東 部								
切 削 型	36.75	36.54	0.6	40.92	-10.2	203.75	233.65	-12.8
成 形 型	D	D	327.9	19.96	D	D	D	-86.0
計	D	D	5.2	60.88	D	D	D	-22.6
北 中 東 部								
切 削 型	49.52	34.04	45.5	91.59	-45.9	307.35	427.24	-28.1
成 形 型	0.82	D	D	3.14	-73.9	D	9.95	D
計	50.34	D	D	94.72	-46.9	D	437.18	D
北 中 西 部								
切 削 型	32.86	34.82	-5.6	68.99	-52.4	213.22	341.98	-37.6
成 形 型	D	1.94	D	0.59	D	D	D	-7.1
計	D	36.76	D	69.57	D	D	D	-37.1
南 中 部								
切 削 型	16.93	18.50	-8.4	34.28	-50.6	100.05	165.39	-39.5
成 形 型	D	D	D	D	*	D	D	-24.4
計	D	D	4.5	D	-43.8	D	D	-39.2
西 部								
切 削 型	42.12	39.90	5.5	74.81	-43.7	235.45	349.52	-32.6
成 形 型	D	D	48.1	0.93	D	D	6.36	D
計	D	D	5.9	75.74	D	D	355.87	D

P：暫定値 R：改定値 *：1,000%以上

D：調査参加者数の変更により、成形型及び組み立機の前年同期比データは、正確に発表することが出来ない。
四捨五入により合計値及び％は一致しない場合がある。

出所：USMTO

◆台湾工作機械輸出入統計(2020年1～4月)

台湾工作機械輸出入統計(2020年1～4月)

(単位：千USドル)

機 種 名	輸 出			輸 入		
	2019.1-4	2020.1-4	前年比(%)	2019.1-4	2020.1-4	前年比(%)
放電加工機・レーザー加工機	43,344	57,177	31.9	94,615	82,482	-12.8
マシニングセンタ	358,018	243,627	-32.0	54,248	39,273	-27.6
旋盤	201,195	157,346	-21.8	32,819	22,108	-32.6
ボール盤・フライス盤・中ぐり盤	86,117	65,760	-23.6	9,041	16,944	87.4
研削盤	85,754	55,617	-35.1	41,421	17,412	-58.0
歯切り盤・歯車機械	54,592	33,371	-38.9	19,574	13,515	-31.0
切 削 型 合 計	829,020	612,898	-26.1	251,718	191,734	-23.8

出所：海関進出口統計月報

台湾工作機械国別輸出入統計(2020年1～4月)

(単位：千USドル)

輸 出					輸 入				
順位	国別	2019.1-4	2020.1-4	前年比(%)	順位	国別	2019.1-4	2020.1-4	前年比(%)
1	中 国	263,079	200,157	-23.9	1	日 本	150,758	111,381	-26.1
2	米 国	136,684	94,723	-30.7	2	中 国	34,296	26,794	-21.9
3	ト ル コ	20,600	53,611	160.2	3	ド イ ツ	24,894	24,687	-0.8
4	イ ン ド	52,964	32,048	-39.5	4	ス イ ス	26,595	15,884	-40.3
5	ベ ト ナ ム	51,631	29,405	-43.0	5	イ タ リ ア	10,320	8,650	-16.2
6	ロ シ ア	32,611	25,375	-22.2	6	タ イ	2,713	4,862	79.2
7	タ イ	46,867	23,718	-49.4	7	韓 国	8,215	4,586	-44.2
8	オ ラ ン ダ	43,426	22,999	-47.0	8	米 国	7,231	4,570	-36.8
9	日 本	38,418	21,655	-43.6	9	ス ペ イ ン	1,939	3,450	77.9
10	ド イ ツ	33,889	18,586	-45.2	10	オーストリア	134	2,622	1856.7
11	香 港	8,105	17,473	115.6	11	チ ェ コ	2,433	2,339	-3.9
12	インドネシア	14,154	16,945	19.7	12	オ ラ ン ダ	1,158	1,512	30.6
13	韓 国	16,701	16,692	-0.1	13	シンガポール	13,397	1,245	0.0
14	マレーシア	22,640	15,808	-30.2	14	イスラエル	1,703	1,118	-34.4
15	イ タ リ ア	26,644	13,847	-48.0	15	ロ シ ア	60	804	1230.0
16	英 国	14,403	12,154	-15.6					
17	ブラジル	7,485	9,990	33.5					
18	カ ナ ダ	10,333	6,899	-33.2					
19	ベ ル ギ ー	13,235	6,711	-49.3					
20	オーストラリア	9,707	6,685	-31.1					
21	ス ペ イ ン	9,336	6,532	-30.0					
22	モ ロ ッ コ	6,924	6,095	-12.0					
23	メ キ シ コ	19,799	6,030	-69.5					
24	フ ラ ン ス	8,624	5,142	-40.4					
25	ス イ ス	2,740	4,349	58.7					
	そ の 他	85,165	64,566	-24.2		そ の 他	8,430	6,757	-19.8
	合 計	996,164	738,195	-25.9		合 計	294,276	221,261	-24.8

出所：海関進出口統計月報

◆ドイツ工作機械主要統計(2020年第1四半期)

	金額(百万ユーロ)						前年比(%)		
	2016	2017	2018	2019	2019 1Q	2019 2Q	2018	2019	2020 1Q
生産合計*	15,007	16,006	17,125	17,037	4,003	3,180	+7	-1	-21
機械合計	11,112	11,810	12,587	12,638	2,896	2,265	+7	+0	-22
切削型	8,169	8,806	9,347	9,596	2,309	1,770	+6	+3	-23
成形型	2,943	3,004	3,239	3,042	587	495	+8	-6	-16
部品・付属品	2,540	2,753	3,032	2,881	737	590	+10	-5	-20
設置・修理・メンテナンス	1,355	1,442	1,506	1,518	370	325	+4	+1	-12
受注額	15,950	17,220	17,460	13,660	4,085	3,057	+1	-22	-25
内需	4,850	5,340	5,600	4,430	1,500	1,170	+5	-21	-22
外需	11,100	11,880	11,860	9,230	2,585	1,887	-0	-22	-27
生産額(サービス除く)	13,652	14,563	15,619	15,520	3,633	2,855	+7	-1	-21
輸出	9,374	10,292	10,757	9,959	2,405	1,760	+5	-7	-27
国内販売	4,278	4,271	4,862	5,561	1,228	1,095	+14	+14	-11
輸入	3,420	3,593	4,080	3,726	969	623	+14	-9	-36
国内消費	7,697	7,864	8,942	9,287	2,197	1,718	+14	+4	-22
輸出比率(%)	68.7	70.7	68.9	64.2	66.2	61.6			
輸入比率(%)	44.4	45.7	45.6	40.1	44.1	36.6			
従業員数(年平均)	68,985	70,937	73,474	73,353	73,387	71,643	+3.6	-0.2	-2.4
(3月)					73,367	71,563			-2.5
稼働率(年平均)	88.0	91.6	93.9	88.4	89.4	72.7	+2.3	-5.5	-16.7
(4月)					86.5	63.5			-23.0

出所：VDW、VDMA、ドイツ連邦統計局

* 2019年第1四半期は、暫定値。

◆ドイツ工作機械生産統計 (2019年)

	金額(百万ユーロ)					前年比(%)			シェア(%)		
	2015	2016	2017	2018	2019	2017	2018	2019	2017	2018	2019
レーザー加工機、イオンビーム、超音波加工機	633.5	633.0	811.0	820.4	761.8	+28	+1	-7	5.1	4.8	4.5
電気加工機	90.0	91.1	100.4	97.5	57.0	+10	-3	-42	0.6	0.6	0.3
マシニングセンタ	2,101.8	2,149.6	2,073.6	2,142.0	2,414.3	-4	+3	+13	13.0	12.5	14.2
トランスファーマシン	902.3	932.3	1,079.0	1,145.2	1,240.4	+16	+6	+8	6.7	6.7	7.3
旋盤	1,673.3	1,408.8	1,451.3	1,667.4	1,508.3	+3	+15	-10	9.1	9.7	8.9
ボール盤	60.8	43.3	66.5	76.2	61.3	+54	+15	-20	0.4	0.4	0.4
中ぐり盤、中ぐりフライス盤	187.7	168.0	205.3	134.5	184.2	+22	-34	+37	1.3	0.8	1.1
フライス盤	924.4	901.4	998.4	1,120.6	1,087.1	+11	+12	-3	6.2	6.5	6.4
研削盤、ホーニング盤、ラップ盤	1,106.6	1,054.7	1,150.0	1,237.1	1,208.0	+9	+8	-2	7.2	7.2	7.1
歯切り盤	466.4	506.2	552.7	576.5	574.9	+9	+4	-0	3.5	3.4	3.4
金切り盤及び切断機	214.7	192.6	220.6	239.6	226.6	+14	+9	-5	1.4	1.4	1.3
その他の工作機械	94.6	88.2	97.2	90.5	114.8	+10	-7	+27	0.6	0.5	0.7
金属切削型合計	8,456.1	8,169.1	8,805.8	9,347.5	9,438.8	+8	+6	+1	55.0	54.6	55.4

出所：VDW、VDMA、ドイツ連邦統計局

◆ドイツ工作機械貿易統計 (2020年第1四半期)

ドイツ工作機械輸出統計(2020年第1四半期)

	金額(百万ユーロ)					前年比(%)			シェア(%)		
	2017	2018	2019 r	2019 1Q	2020 1Q	2017	2018	2019 1Q	2017	2018	2019
レーザー加工機、イオンビーム、超音波加工機	991.0	1,115.9	1,045.4	244.8	182.1	+13	-6	-26	10.4	10.5	10.3
電気加工機	93.8	87.1	80.3	23.7	12.0	-7	-8	-49	0.8	0.8	0.7
マシニングセンタ	2,333.9	2,370.9	2,037.9	538.7	331.9	+2	-14	-38	22.0	20.5	18.9
トランスファーマシン	189.2	181.9	168.7	42.2	36.9	-4	-7	-13	1.7	1.7	2.1
旋盤	932.2	1,114.0	995.3	241.9	147.8	+20	-11	-39	10.4	10.0	8.4
ボール盤	57.9	61.1	74.6	28.2	10.3	+5	+22	-63	0.6	0.7	0.6
中ぐり盤、中ぐりフライス盤	173.9	181.2	165.9	32.4	36.4	+4	-8	+12	1.7	1.7	2.1
フライス盤	318.1	387.8	329.8	71.1	63.5	+22	-15	-11	3.6	3.3	3.6
研削盤、ホーニング盤、ラップ盤	1,017.4	1,036.9	1,025.1	227.0	195.5	+2	-1	-14	9.6	10.3	11.1
歯切り盤	443.2	477.1	458.5	123.9	72.2	+8	-4	-42	4.4	4.6	4.1
金切り盤及び切断機	133.1	148.1	159.7	41.8	28.0	+11	+8	-33	1.4	1.6	1.6
その他の工作機械	100.0	99.4	116.4	21.8	18.9	-1	+17	-13	0.9	1.2	1.1
金属切削型合計	6,783.7	7,261.4	6,657.5	1,637.6	1,135.6	+7	-8	-31	67.5	66.8	64.5

出所：VDW、VDMA、ドイツ連邦統計局

ドイツ工作機械輸入統計(2020年第1四半期)

	金額(百万ユーロ)					前年比(%)			シェア(%)		
	2017	2018	2019 r	2019 1Q	2020 1Q	2018	2019	2020 1Q	2018	2019	2020 1Q
レーザー加工機、イオンビーム、超音波加工機	520.6	610.3	502.3	137.4	92.5	+17	-18	-33	15.0	13.5	14.9
電気加工機	88.1	83.9	73.5	22.7	9.3	-5	-12	-59	2.1	2.0	1.5
マシニングセンタ	421.3	508.7	447.1	124.4	60.1	+21	-12	-52	12.5	12.0	9.6
トランスファーマシン	62.2	53.8	58.6	13.8	8.0	-13	+9	-42	1.3	1.6	1.3
旋盤	513.5	598.7	558.4	148.9	92.0	+17	-7	-38	14.7	15.0	14.8
ボール盤	21.0	24.0	24.4	5.4	4.4	+14	+2	-19	0.6	0.7	0.7
中ぐり盤、中ぐりフライス盤	77.2	73.3	82.2	20.6	10.5	-5	+12	-49	1.8	2.2	1.7
フライス盤	88.6	82.8	67.5	18.4	13.3	-7	-19	-28	2.0	1.8	2.1
研削盤、ホーニング盤、ラップ盤	373.4	443.9	405.4	93.7	62.1	+19	-9	-34	10.9	10.9	10.0
歯切り盤	43.5	74.0	70.4	18.0	7.8	+70	-5	-57	1.8	1.9	1.2
金切り盤及び切断機	33.7	38.1	43.2	12.0	7.4	+13	+13	-38	0.9	1.2	1.2
その他の工作機械	12.1	11.1	6.6	1.4	1.8	-8	-41	+25	0.3	0.2	0.3
金属切削型合計	2,255.2	2,602.7	2,339.6	616.7	369.1	+15	-10	-40	63.8	62.8	59.3

出所：VDW、VDMA、ドイツ連邦統計局

r=改定値

ドイツ工作機械輸出主要仕向け国(2020年第1四半期)

	金額(百万ユーロ)				前年比(%)	
	2018	2019r	2019 1Q	2020 1Q	2019	2020 1Q
1. 中 国	2,082	1,732	405	301	-17	-26
2. 米 国	1,070	922	194	176	-14	-9
3. フ ラ ン ス	375	390	103	74	+4	-28
4. オーストリア	368	377	89	70	+2	-21
5. ポーランド	427	393	96	60	-8	-37
6. イ タ リ ア	525	433	90	57	-18	-37
7. チ ェ コ	323	274	78	56	-15	-27
8. ス イ ス	243	280	60	54	+15	-11
9. 英 国	218	215	50	43	-1	-13
10. ス ペ イ ン	276	231	57	40	-16	-29
11. メ キ シ コ	327	243	61	39	-26	-36
12. ロ シ ア	246	205	44	35	-17	-20
13. ト ル コ	158	149	32	28	-6	-11
14. ス エーデン	146	179	57	27	+23	-53
15. オ ラ ン ダ	164	170	52	25	+4	-52
16. 日 本	159	174	44	24	+10	-45
17. ルーマニア	117	118	20	22	+1	+9
18. イ ン ド	192	181	46	22	-6	-52
19. 韓 国	133	134	39	22	+1	-42
20. ハ ン ガ リー	169	221	43	21	+31	-51
そ の 他	1,317	1,314	327	243	-0	-26
合 計	9,033	8,334	1,984	1,439	-8	-27

出所：連邦統計局、VDMA、VDW

ドイツ工作機械輸入国別(2020年第1四半期)

	金額(百万ユーロ)				前年比(%)	
	2018	2019r	2019 1Q	2020 1Q	2019	2020 1Q
1. ス イ ス	1,024	857	201	147	-16	-27
2. 日 本	364	314	87	56	-14	-36
3. 中 国	123	157	38	29	+28	-24
4. イ タ リ ア	234	250	69	26	+7	-62
5. チ ェ コ	179	158	42	24	-12	-44
6. 韓 国	194	183	50	23	-6	-54
7. オーストリア	145	121	37	20	-16	-45
8. 台 湾	116	108	27	16	-7	-40
9. ス ペ イ ン	99	86	17	16	-14	-6
10. 米 国	101	91	24	14	-10	-42
11. ポーランド	55	63	15	10	+15	-37
12. ト ル コ	56	47	14	10	-16	-29
13. 英 国	86	88	25	9	+3	-65
14. フ ラ ン ス	62	49	16	8	-21	-48
15. ス エーデン	15	14	6	8	-7	+40
16. オ ラ ン ダ	82	60	16	6	-27	-65
17. タ イ	12	15	3	4	+23	+27
18. ス ロ バ キ ア	21	26	8	3	+22	-61
19. ハ ン ガ リー	6	3	1	1	-52	-8
20. イ ン ド	17	8	3	1	-52	-54
そ の 他	112	107	30	14	-4	-54
合 計	3,100	2,803	728	443	-10	-39

出所：連邦統計局、VDMA、VDW

◆韓国工作機械主要統計（2020年4月）

韓国工作機械受注(2020年1～4月) (単位：百万ウォン)

需 要 業 種	2020.3	2020.4	前月比(%)	2019.1-4	2020.1-4	前年同期比(%)
鉄鋼・非鉄金属	5,305	1,685	-68.2	18,528	15,148	-18.2
金属製品	2,435	692	-71.6	11,697	7,166	-38.7
一般機械	18,140	17,910	-1.3	85,871	73,604	-14.3
電気機械	9,820	8,329	-15.2	46,175	50,581	9.5
自動車	28,269	29,380	3.9	188,729	123,056	-34.8
造船・輸送用機械	2,010	2,643	31.5	11,164	7,557	-32.3
精密機械	1,594	1,155	-27.5	11,408	6,894	-39.6
その他製造業	6,705	3,528	-47.4	15,968	17,241	8.0
官公需・学校	244	154	-36.9	5,155	1,916	-62.8
商社・代理店	2,320	3,702	59.6	18,916	12,042	-36.3
その他	64	339	429.7	2,004	845	-57.8
内 需 合 計	76,906	69,517	-9.6	415,615	316,050	-24.0
外 需	71,676	49,147	-31.4	527,526	299,110	-43.3
受 注 累 計	148,582	118,664	-20.1	943,141	615,160	-34.8

出所：韓国工作機械産業協会

○機種別受注(2020.1～4) (単位：百万ウォン)

機 種	2020.3	2020.4	前月比(%)	2019.1-4	2020.1-4	前年同期比(%)
N C 小 合 計	143,792	115,024	-20.0	893,175	582,136	-34.8
NC旋盤	60,520	43,062	-28.8	377,797	250,439	-33.7
マシニングセンタ	53,552	46,261	-13.6	338,850	216,093	-36.2
NCフライス盤	390	200	-48.7	921	990	7.5
NC専用機	4,043	7,912	95.7	75,437	27,229	-63.9
NC中ぐり盤	15,172	9,540	-37.1	67,597	48,772	-27.8
NCその他の工作機械	10,115	8,049	-20.4	32,573	38,613	18.5
非 N C 小 合 計	3,558	2,475	-30.4	23,682	13,955	-41.1
旋盤	1,187	1,035	-12.8	6,144	5,026	-18.2
フライス盤	1,091	812	-25.6	7,763	5,058	-34.8
ボール盤	30	0	-	187	98	-47.6
研削盤	1,158	624	-46.1	6,016	3,182	-47.1
専用機	0	0	-	0	0	-
金 属 切 削 型	147,350	117,499	-20.3	916,857	596,091	-35.0
金 属 成 形 型	1,232	1,165	-5.4	26,284	19,069	-27.5
総 合 計	148,582	118,664	-20.1	943,141	615,160	-34.8

出所：韓国工作機械産業協会

韓国工作機械生産&出荷統計(2020年1～4月) (単位：百万ウォン)

機 種 別	2020.3	2020.4	前月比(%)	2019.1-4	2020.1-4	前年同期比(%)
N C 小 合 計	159,257	149,751	-6.0	767,177	592,024	-22.8
NC旋盤	56,491	58,635	3.8	329,208	229,483	-30.3
マシニングセンタ	58,729	53,220	-9.4	282,270	222,431	-21.2
NCフライス盤	0	222	-	1,221	310	-74.6
NC専用機	13,827	10,900	-21.2	57,512	41,986	-27.0
NC中ぐり盤	3,570	2,332	-34.7	16,007	10,844	-32.3
NCその他	26,640	24,442	-8.3	80,959	86,970	7.4
非 N C 小 合 計	3,141	2,909	-7.4	40,061	11,712	-70.8
旋盤	991	1,077	8.7	10,089	3,555	-64.8
フライス盤	943	1,109	17.6	17,356	3,748	-78.4
ボール盤	226	342	51.3	1,465	1,325	-9.6
研削盤	375	364	-2.9	4,922	1,367	-72.2
専用機	0	0	-	3,217	494	-84.6
その他	606	17	-97.2	3,012	1,223	-59.4
金 属 切 削 型 合 計	162,398	152,660	-13.4	807,238	603,736	-93.6
金 属 成 形 型 合 計	15,504	15,063	-2.8	68,778	66,753	-2.9
総 合 計	177,902	167,723	-5.7	876,016	670,489	-23.5

出所：韓国工作機械産業協会

○出荷(2020.1~4)

(単位：百万ウォン)

機 種 別	2020.3	2020.4	前月比(%)	2019.1-4	2020.1-4	前年同期比(%)
N C 小 合 計	179,186	142,812	-20.3	821,698	600,292	-26.9
NC旋盤	67,308	56,057	-16.7	364,275	243,317	-33.2
マシニングセンタ	74,089	52,297	-29.4	290,293	231,115	-20.4
NCフライス盤	0	222	-	1,221	310	-74.6
NC専用機	13,827	11,323	-18.1	68,124	44,059	-35.3
NC中ぐり盤	1,916	1,673	-12.7	15,751	6,527	-58.6
NCその他	22,046	21,240	-3.7	82,034	74,964	-8.6
非 N C 小 合 計	4,422	3,181	-28.1	35,039	15,906	-54.6
旋盤	1,654	1,296	-21.6	7,704	5,787	-24.9
フライス盤	1,293	1,133	-12.4	14,352	5,001	-69.9
ボール盤	351	199	-43.3	1,619	1,516	3.5
研削盤	485	528	8.9	5,136	1,814	-27.4
専用機	0	0	-	3,114	494	-53.4
その他	639	25	-96.1	3,114	1,294	-52.7
金 属 切 削 型	183,608	145,993	-20.5	856,737	616,198	-25.6
金 属 成 形 型	2,695	1,710	-36.5	49,593	47,548	-3.2
総 合 計	186,303	147,703	-20.7	906,330	663,746	-24.1

出所：韓国工作機械産業協会

韓国工作機械輸出統計(2020年1~4月)

○機種別輸出(2020.1~4)

(単位：千USドル)

機 種 別	2020.3	2020.4	前月比(%)	2019.1-4	2020.1-4	前年同期比(%)
N C 小 合 計	125,695	98,770	-21.4	558,476	424,005	-24.1
NC旋盤	46,290	33,545	-27.5	254,002	159,881	-37.1
マシニングセンタ	31,314	27,836	-11.1	199,638	119,922	-39.9
NCフライス盤	2,167	9,386	333.1	4,808	14,547	202.5
NC専用機	232	5	-97.9	1,642	2,785	69.6
NC中ぐり盤	1,766	624	-64.6	8,795	5,142	-41.5
NCその他	43,926	27,373	-37.7	89,589	121,727	35.9
非 N C 小 合 計	10,707	12,550	17.2	52,326	45,671	-12.7
旋盤	775	829	6.9	5,260	4,433	-15.7
フライス盤	1,336	911	-31.8	4,346	4,859	11.8
ボール盤	1,030	747	-27.5	1,758	2,713	54.3
研削盤	679	2,195	223.1	9,004	4,978	-44.7
専用機	85	1	21.3	97	410	322.6
その他	6,803	7,867	15.6	31,862	28,279	-11.2
金 属 切 削 型 合 計	136,402	111,320	-18.4	610,802	469,676	-23.1
金 属 成 形 型 合 計	51,926	34,727	-33.1	194,558	175,836	-9.6
総 合 計	188,327	146,048	-22.4	805,360	645,512	-19.8

出所：韓国通関局

○仕向け国別輸出(2020.1~4)

(単位：千USドル)

機 種 別	アジア	中 国	インド	アメリカ	欧 州	ドイツ	トルコ
N C 小 合 計	192,645	76,131	25,169	95,185	114,381	42,116	15,564
NC旋盤	26,856	13,573	4,771	47,979	71,942	28,549	8,493
マシニングセンタ	42,709	14,071	13,924	37,568	34,530	11,029	5,794
NCフライス盤	10,987	988	517	496	1,265	366	116
NC専用機	2,783	250	2,533	2	0	0	0
NC中ぐり盤	1,896	1,512	370	1,249	1,195	0	899
NCその他	107,414	45,737	3,055	7,890	5,450	2,173	262
非 N C 小 合 計	24,622	4,898	4,117	2,871	14,063	769	1,593
旋盤	3,704	1,762	49	378	351	0	305
フライス盤	1,607	179	127	571	1,662	86	4
ボール盤	1,492	129	3	67	334	0	13
研削盤	3,773	318	859	161	1,029	95	898
専用機	178	2	172	0	231	231	0
その他	13,868	2,508	2,906	1,694	10,456	357	374
金 属 切 削 型 合 計	217,267	81,029	29,286	98,056	128,444	43,662	17,157
金 属 成 形 型 合 計	104,408	31,191	33,731	26,958	17,943	1,171	162
総 合 計	321,675	112,221	63,017	125,013	146,384	44,057	17,319

出所：韓国通関局

○機種別輸入(2020.1~4) 韓国工作機械輸入統計(2020年1~4月) (単位:千USドル)

機 種 別	2020.3	2020.4	前月比(%)	2019.1-4	2020.1-4	前年同期比(%)
N C 小 合 計	64,905	54,186	-16.5	243,742	210,030	-13.8
NC旋盤	11,569	7,924	-31.5	32,024	29,295	-8.5
マシニングセンタ	14,977	8,223	-45.1	70,972	43,877	-38.2
NCフライス盤	428	427	-0.2	7,655	3,691	-51.8
NC専用機	104	365	249.6	1	482	-
NC中ぐり盤	238	3	-98.7	925	1,723	86.3
NCその他	37,590	29,031	-22.8	132,164	130,962	-0.9
非 N C 小 合 計	7,964	9,592	20.4	60,495	35,529	-41.3
旋盤	551	829	50.5	4,242	3,007	-29.1
フライス盤	971	1,034	6.5	1,579	2,763	75.0
ボール盤	561	247	-56.0	2,272	1,334	-41.3
研削盤	1,459	2,295	57.3	22,634	10,859	-52.0
専用機	24	7	-70.8	178	32	-82.0
その他	4,398	5,179	17.8	29,591	17,534	-40.7
金 属 切 削 型 合 計	72,869	63,778	-12.5	304,237	245,559	-19.3
金 属 成 形 型 合 計	17,658	11,221	-36.5	62,949	54,429	-13.5
総 合 計	90,527	74,998	-17.2	367,185	299,989	-18.3

出所: 韓国通関局

○輸入国別(2020.1~4) (単位:千USドル)

機 種 別	アジア	日 本	台 湾	米 国	欧 州	ドイツ	イタリア
N C 小 合 計	141,473	89,920	8,934	5,717	60,585	31,433	2,970
NC旋盤	26,919	18,708	0	282	2,094	551	725
マシニングセンタ	36,320	25,392	7,447	2,026	5,531	5,091	203
NCフライス盤	1,465	589	168	123	2,103	1,326	706
NC専用機	377	0	0	0	104	0	104
NC中ぐり盤	385	384	0	0	1,338	284	1,054
NCその他	76,007	44,847	1,319	3,286	49,415	24,181	180
非 N C 小 合 計	22,305	12,083	3,261	3,074	10,144	6,854	560
旋盤	2,319	1,008	765	21	666	0	0
フライス盤	1,089	961	0	29	1,644	1,109	193
ボール盤	843	348	74	266	225	58	0
研削盤	6,702	4,682	554	417	3,740	3,086	81
専用機	7	0	0	24	0	0	0
その他	11,344	5,083	1,868	2,315	3,869	2,601	286
金 属 切 削 型 合 計	163,778	102,003	12,195	8,791	82,890	38,287	3,530
金 属 成 形 型 合 計	30,618	12,919	2,989	1,365	22,250	11,849	3,229
総 合 計	194,396	114,921	15,184	10,155	92,979	50,135	6,759

出所: 韓国通関局

2. 主要国・地域経済動向

◆米国: PMI 52.6% (6月)

米サプライ・マネジメント協会 (ISM) の購買管理指数 (PMI: 製造業350社以上のアンケート調査に基づく月次景況指数) の6月の調査結果について、ISMは次のようにコメントしている。「6月の米国製造業は拡大傾向である、米国経済全体では、1か月の縮小傾向を経て、2か月連続の拡大傾向となった。6月PMIは、前月の43.1%から9.5ポイント増加して52.6%であった。新規

受注は、前月の31.8%から24.6ポイント増加して、56.4%であった。生産は、前月の33.2%から24.1ポイント増加して、57.3%であった。6月

ISM (PMI) 指数の推移



は、COVID-19パンデミックによる急落から、経済再生のサイクルに入ったことが伺われた。回答者からのコメントは、3月から続いたネガティブな見通しから一転して、ポジティブに変わった。PMI®は1980年8月以降見られなかった割合で月を追うごとに増加し、製造部門は4月の激減から回復傾向にあり、他のいくつかの指数も近年見られない上昇を遂げている。なお、6月の製造業の景況感について、対象18業種中、次の13業種が「企業活動が増加した」と回答している。繊維機械、木工製品、家具&関連製品、食料・飲料&タバコ、コンピュータ&関連製品、プラスチック&ゴム製品、化学製品、雑貨、非鉄鉱物、紙製品、家電&関連機器&部品。

ISMが発表した6月の主要個別指数の前月比変動傾向は以下の通り。

項 目	2020年 6月指数	2020年 5月指数	備 考
I S M 指 数 (PMI)	52.6	43.1	前月比9.5ポイント増。 PMIが50%を上回ると製造業の拡大を示唆。
新 規 受 注	56.4	31.8	前月比24.6ポイント増。 拡大の基準は52.5である。 11業種が増加を報告した。
生 産	57.3	33.2	前月比24.1ポイント増。 拡大の基準は、51.7である。 13業種が増加を報告。
雇 用	42.1	32.1	前月比10.0ポイント増。 5業種が増加を報告した。
入 荷 遅 延	56.9	68.0	前月比11.1ポイント減。 長期化の基準は、50以上。 14業種が長期化を報告した。
在 庫	50.5	50.4	前月比0.1ポイント増。 拡大の基準44.3ポイント を上回った。9業種が在庫増を報告した。
顧 客 在 庫	44.6	46.2	前月比5.5ポイント増。4 業種が増加を報告した。
仕 入 れ 価 格	51.3	40.8	前月比10.5ポイント増。 8業種が増加を報告した。
受 注 残	45.3	38.2	前月比7.1ポイント増。6 業種が増加を報告。
輸 出 受 注	47.6	39.5	前月比8.1ポイント増。3 業種が増加を報告。
原 材 料 輸 入	48.8	41.3	前月比7.5ポイント増。5 業種が増加を報告。

(ISM Manufacturing Report on Business 2020年7月1日付)

◆IMTS Sparkについて

新型コロナウイルスの影響で中止となったIMTS2020の主催者であるAMTは、製造業界に対する責任を痛感し、ビジネス繁栄のためのニーズに応えるべく、オンライン展示会－IMTS Sparkを誕生させた。

IMTS Sparkは、包括的なデジタルプラットフォームである。潜在的な顧客とつながり、貴重な教育コンテンツを提供し、ネットワーキングの機会を提供することで、効果的で魅力的でありながら安全なインターフェースを通じて、一流のエクスペリエンスを提供する。

Gardner Business Mediaとのパートナーシップにより、IMTS Sparkは、コンテンツおよびユーティリティをプラットフォーム上で構築する。

IMTS Sparkへの参加をご希望される方は、info@Spark.comまでお問い合わせください。(IMTS Spark 2020年8月14日～2021年3月15日まで)

出展者としての参加方法詳細は、下記をご覧ください。

<https://www.imts.com/pdf/IMTSSpark.pdf>

さらに、IMTS Networkは、本来のIMTS2020が予定されていた週である2020年9月14～18日の1週間にプログラムを開始する。AMT本部とシカゴからの生放送により、製造業ニュース、新技術、業界の影響力を取り上げる。

(AMT Online 2020年7月)

◆5月独製造業受注10%増加、自動車は上げ幅44%に

ドイツ連邦統計局のデータをもとに連邦経済省が6日発表した5月の製造業新規受注指数（2015年＝100、暫定値）は物価・季節要因・営業日数調整後の実質で前月比10.4%増となり、統計を開始した1991年以降で最大の伸びを記録した。増加は4カ月ぶり。新型コロナ危機からの回復がようやく始まったもようだ。経済省は「製造業の景

気後退は底を打った」との見方を示した。それと同時に、新規受注指数の水準が71.1と極めて低い水準にあることや、ユーロ圏外からの受注の回復が鈍く世界経済が厳しい状況にあることを指摘。製造業の景気回復の道のりは長いとの見方を示した。

5月の製造業受注は国内が12.3%、国外が8.8%増えた。国外はユーロ圏の増加幅が20.9%に達したのに対し、ユーロ圏外は同2.0%にとどまった。

伸び率を部門別でみると、投資財は20.3%に上がった。自動車が44.4%に達し全体を強く押し上げた格好だ。中間財は0.4%と小幅な伸びにとどまった。消費財は4.7%。

新規受注を特殊要因によるブレが小さい2カ月単位の比較でみると、4～5月は前の期の2～3月を実質28.6%割り込んだ。国内が23.4%、国外が32.3%の幅で縮小した。

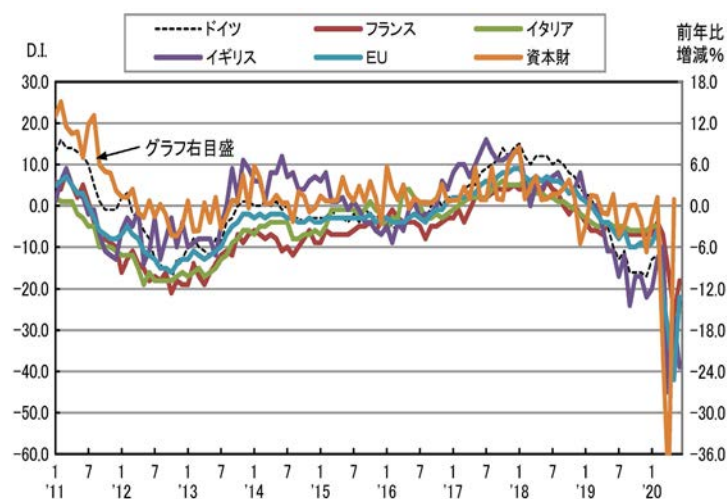
(プレスリリース(1738) 7月6日付)

(<https://www.bmwi.de/Redaktion/DE/Pressemitteilungen/Verarbeitendes-Gewerbe/2020/20200706-entwicklung-des-auftragseingangs-im-verarbeiten-den-gewerbe-mai-2020.html>)

◆欧州：EU主要国製造業景気動向指数(D.I.)と資本財生産月次推移(6月)

欧州委員会の発表した2020年6月のEU主要国製造業景気動向指数(D.I.)(修正後)によると、

EU主要国製造業景気動向指数(D.I.)と資本財生産月次推移



EU全体では、前月比+5ポイントであった。国別では、ドイツが+5、フランスが+8、イタリアは+4、イギリスが+3であった。

一方、ユーロ圏の資本財生産については、2020年5月は前年同月比で+0.9となった。なお、2020年6月の数字は未発表である。

(欧州委員会 Monthly Survey of Manufacturing Industry 及び Industrial Production 調査)

◆EU工作機械産業、2020年の減少を予測

2020年欧州工作機械消費は、COVID-19パンデミックの影響により25.8%減少すると予測されいる。

CECIMO(欧州工作機械産業連盟)は、主にグローバルなCOVID-19パンデミックの結果として、2020年の工作機械受注と需要の大幅な減少の予測を発表した。パンデミックの終焉とそれに関連する社会的制限により、今年後半にトレンドが急速に逆転する可能性もある。

しかし、現在の状況は、EU工作機械産業の新規受注および納入額は低迷している。2019年、CECIMO工作機械の総生産額は、2018年のレベルから4.1%減少した。

欧州全体の工作機械の見通し予測(2020年春)は、オックスフォード・エコノミクスが実施しており、この地域の2020年第1四半期の工作機械受注は、対前年同期比29%減少し、うちCECIMO国内受注は34%減少し、海外受注は30%減であった。

欧州の受注結果は、最近の米国製造技術受注(USMTO)レポートと一致しており、4月受注は前年比37.8%減少し、1～4月受注累計は10億9,700万ドルで、前年同期比28.2%減少した。

CECIMOは、2020年第2四半期までの産業活動と新規受注の継続的低迷を予測している、グローバルなCOVID-19パンデミックの緩和と社会的抑制措置が解除され

ることにより、Q3とQ4の間に急速に回復すると見ている。

具体的には、欧州工作機械消費は、2020年に全体で25.8%減少すると予測されている。

CECIMOによると、「特に重要なのは、工作機械の主要な消費業界である自動車産業の問題である。自動車需要は欧州、北米、中国などで急激に減少しており、資本財、すなわち工作機械の分野別の需要を妨げている」と語った。

オックスフォード・エコノミクスによると、欧州自動車メーカーの工作機械への投資は、2020年に10.7%減少すると予測されている。パンデミックに加えて、このトレンドは「一般に不明確な持続可能自動車政策であり、すでに自動車の全体的な需要に大きな影響を与えている。」

レポートによると、欧州工作機械産業は2021年中に部分的に回復し、製造活動は通常の状態に戻ると予測されている。2021年の欧州工作機械消費は、前年比19.6%の回復を予測している。このシナリオによると、工作機械の消費は2022年までに安定し、2022年の成長率は5.0%を維持する。(AMERICAN MACHINIST 2020年6月9日)

◆IMTEX 2021 会期延期

COVID-19のパンデミックは、世界中の企業に厳しい状況をもたらしている。製造業および工作機械産業は、インドだけでなく世界的にも深刻な影響を受けている。これらの産業の回復が最も重要である。「訪問者/バイヤー」としてIMTEXの主要な参加者であるほとんどの製造業界セグメントも、通常の状態に戻ろうと努力している。

これらの状況を考慮して、IMTEX 2021（インド・バンガロール市）は、当初2021年1月開催予定のところ、2021年6月17日～23日にスケジュールを変更した。

展示会主催者および展示会場であるIMTMA-BIECは、必要な規範を備えた展示会を開催するために、あらゆる安全衛生対策を講じている。

(IMTMA NEWS 2020年6月)

◆インド PMI、6月改善

IHS Markitが発表したデータによると、インド製造購買担当者指数（PMI）は、今年5月の30.8に対して、6月は47.2に急上昇した。これは、2020年6月1日に全国的なロックダウンが解除されたことにより、製造業の活動がより早く正常化していることを示している。

IHS Markitのエコノミスト、Eliot Kerr氏は、最新の調査結果について、4月、5月と比べて生産と新規受注がともに緩やかに低迷していることから、6月は安定に向かっていると述べた。

「しかし、最近のコロナウイルスの感染者数の急増によるロックダウン延長により、需要は引き続き弱体化している。感染者数が現在のペースで増加し続けた場合、さらなる封鎖延長が課される可能性があり、これは経済回復を妨げ、この危機により最も深刻な影響を受けた人々の状況を長引かせるだろう。」と同氏は付け加えた。

(Modern Manufacturing India 2020年7月13日)

◆メキシコ製造業最新動向

- 6月のメキシコの自動車生産と輸出は、1か月前と比較して勢いを増した。5月の生産台数である22,119台から、6月の生産はほぼ11倍の238,946台に急増した。一方、前年比で、6月の生産台数は29.3%減少した。6月のメキシコの輸出台数は196,173台で、5月に出荷された15,088台に対して13倍になった。しかし、6月の輸出は前年比で38.8%減少した。
- メキシコは、海外直接投資を最も受け入れる新興国の1つであり、世界で15番目のFDI受給国である。UNCTADの2020年世界投資レポートによると、FDIの流入額は、前年の350億ドル（マイナス5%）から330億ドルに減少した。FDIの総株式は2019年に6,280億ドルと推定されている。投資は主に米国、スペイン、カナダから行

われている。重要な外国投資を受けているセクターは、製造業（特に自動車産業、FDIの21%を占める）、電気、水道、ガスの供給金融、小売および卸売業、金融サービスである。

- ハリスコ州は4億ドルの投資の到来を予測している。
- 「医療ニッチは、そのプロジェクト数に驚かされ、そのうちいくつかは完了した。もう1つは、連邦レベルでの最新の開発にもかかわらず、再生可能エネルギーである。」と、国家産業開発機関の責任者は述べた。「内燃機関の問題のために、電気自動車産業で強い存在感を持つことを目的としている。」と当局者は述べ、今年の新規投資の一部は中国からであると強調した。
- 7月2日、ボンバルディアレクリエーションプロダクツは、新USMCA時代におけるメキシコへの最初の投資を発表した。チワワのシウダードファレス4輪車を製造する工場建設に1億3,600万ドルを投資する。

(AMT NEWS 2020年7月10日)

◆ブラジル製造業最新動向

- 国営大企業4社を今後90日以内に民営化する計画が、経済担当大臣によって公表された。
- 5月の鉱工業生産は7%増加し、2020年には11.2%減少、過去12か月間では5.4%減少した。資本財セグメントは5月に28.7%増加したが、過去5年間で5月に記録された最悪の数値となった。
- トラック用トレーラーおよび機器のセグメントは、企業が先月受注を処理できなかったために需要が抑制されたことをきっかけに、生産レベルが244%増加した。
- 自動車販売は5月と比較して6月に倍増した。
- メルセデス、ヒュンダイ、VWCO、およびGMは、サプライへの第2のシフトに入った。
- Case New Hollandは現在、政府が立ち上げた基本的な衛生プログラム用の機械設備の需要を満

たすために生産量を増やしており、レベルが高い状況で輸出しているため、強い需要があるサトウキビ、コーヒー、綿、穀物の生産設備を一新する必要がある。

- ソフトウェア開発者、IT企業、eコマースビジネスは、販売数と収益が高いレベルの需要に達し、ブラジルで好調である。通信プロトコルとしてMTConnectの実装に取り組んでおり、3月から需要を供給してきたGRVによって確認されている。
- ブラジルの製造業者協会であるABIMAQは、ビジネスの再構築が必要なメンバーにウェビナーを促進し、合併と買収に取り組み、キャッシュフローレベルの低下により困難な時期にも事業を継続するための計画と戦略を策定している。

(AMT NEWS 2020年7月10日)

◆中国製造業PMI 50.9% (6月)

2020年6月の中国の製造業のPMIは50.9%で、前月比0.3ポイント増加した。

企業規模では、大中規模企業のPMIは52.1%と50.2%で、先月より0.5と1.4ポイント増加した。中小企業のPMIは48.9パーセントであり、先月より1.9ポイント減少した。

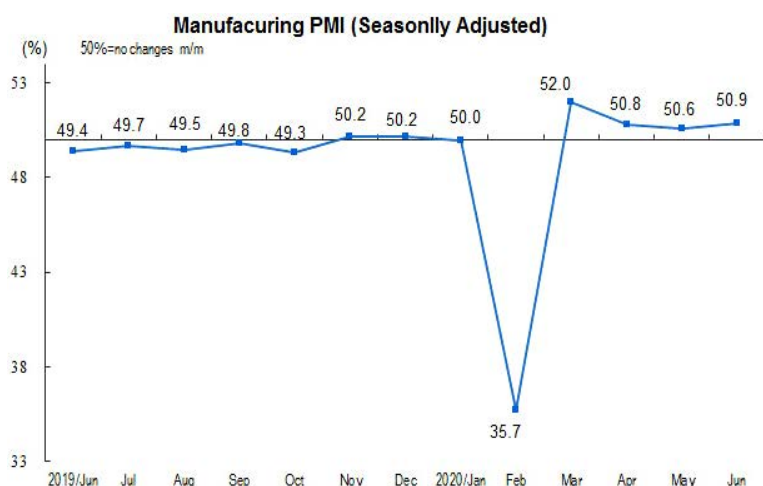
分類指数によると、PMIを構成する5つのサブインデックス、生産、新規受注、供給業者流通時間はすべて基準値を上回ったが、主要な原材料在庫と雇用は基準値を下回った。

生産は53.9%で、前月比0.7ポイント増加した。これは、製造業の生産が月を追うごとに改善されたことを示している。

新規受注は51.4%で、前月比0.5ポイント増加し、2か月連続増となり、製造業の需要が回復し続けていることを示している。

主原料在庫は47.6%と前月比0.3ポイント増加したことから、製造業における主原料の在庫減少率が縮小したことを示している。

雇用は49.1%で前月比0.3ポイント減少してお



り、製造業の雇用見通しがやや低迷していることを示している。

供給業者流通時間は50.5%で、前月と変わらず、基準値を上回っており、製造業における原料供給業者の納期が短縮されたことを示している。

(National Bureau of Statistics of China 2020年7月1日付)

3. 工作機械関連企業動向

◆Hurco 社、会計2020年度第2四半期業績

Hurco 社は、2020年4月30日までの会計2020年度第2四半期の業績を報告した。Hurco は、会計2020年度第2四半期、3,927,000ドル、または希薄株1株当たり(0.58)の純損失を記録した。会計2019年度は、5,252,000ドル、または希薄化後1株あたり0.76ドルの純利益であった。また、会計2020年上半期は、4,820,000ドルまたは1株あたり0.71ドルの純損失を報告した。会計2019会計年度は、11,906,000ドル、つまり希薄株1株あたり1.73ドルの純利益を出していた。

2020会計年度第2四半期の販売およびサービス

料は37,126,000ドルで、前年同期から33,548,000ドル減少した(47%減)。会計2020年度上半期の販売およびサービス料は、80,786,000ドルで、2019会計年度上半期と比較して64,101,000ドル減(44%減)であった。

最高経営責任者マイケル・ドア氏は次のように述べている。「COVID-19のパンデミックは、私たちのビジネスと業界に大きな影響を与えた。過去数か

月の間に政府は、主要な世界の工作機械市場の多くにおいて、企業に業務を閉鎖するか大幅に制限することを要求し、テレワークの実施を義務づけた。その結果、多くの商品やサービスの需要に急激なショックを与えた。多くの管轄区域でのテレワークにより、当社のローカルオペレーションは重要なビジネスまたはインフラストラクチャ産業へのサプライヤーとしての業務を継続することができた。テレワークの実施が解除され始めた今、私たちはお客様に必要なテクノロジーをできるだけ早く提供することにより、お客様ができるだけ効率的かつ効果的に業務に戻ることができるように勤めて参りたい。」

下表は、会計2020年度上半期および会計2020年度第2四半期間の地域ごとの純売上高およびサービス料である。(千ドル)。

2020会計年度の第2四半期および上半期の南北アメリカの売上高は、主にHurco、Milltronics、およびTakumiマシンの出荷量の減少により、前年同期比、それぞれ30%および36%減少した。出荷量の減少は主に、地域全体で課せられた政府による、テレワークの義務化によるものであった。

	Three Months Ended April 30,				Six Months Ended April 30,			
	2020	2019	\$ Change	% Change	2020	2019	\$ Change	% Change
Americas	\$16,696	\$23,830	\$ (7,134)	(30%)	\$34,175	\$52,986	\$ (18,811)	(36%)
Europe	14,736	38,103	(23,367)	(61%)	34,821	73,815	(38,994)	(53%)
Asia Pacific	5,694	8,741	(3,047)	(35%)	11,790	18,086	(6,296)	(35%)
Total	\$37,126	\$70,674	\$ (33,548)	(47%)	\$80,786	\$144,887	\$ (64,101)	(44%)

	Three Months Ended April 30,				Six Months Ended April 30,			
	2020	2019	\$ Change	% Change	2020	2019	\$ Change	% Change
Americas	\$15,924	\$20,268	\$ (4,344)	(21%)	\$34,086	\$44,998	\$ (10,912)	(24%)
Europe	15,575	36,840	(21,265)	(58%)	37,321	70,150	(32,829)	(47%)
Asia Pacific	5,054	10,099	(5,045)	(50%)	10,726	20,066	(9,340)	(47%)
Total	\$36,553	\$67,207	\$ (30,654)	(46%)	\$82,133	\$135,214	\$ (53,081)	(39%)

さらに、2019会計年度の第2四半期と上半期の南北アメリカでの販売は、Hurcoにとって過去最高の販売年であった2018会計年度からの強い需要と受注残の恩恵を受けた。

2020会計年度の第2四半期および上半期の欧州の売上高は、前年同期比、それぞれ61%および53%減少した。2020会計年度の第2四半期および上半期のヨーロッパでの売上の減少は、主にHurcoおよびTakumi機械の出荷量の減少、ならびに当社の全額出資により製造された、イタリアの子会社、LCM Precision Technology Srl（「LCM」）電気機械部品および付属品の売上の減少によるものであった。南北アメリカと同様に、出荷量の減少は主に、政府が義務付けたCOVID-19対策としてのテレワークまたは地域全体に課された営業上の制限によるものであった。さらに、2019会計年度の第2四半期と最初の6か月間のヨーロッパでの売上は、2018会計年度の第4四半期からの需要の増加とバックログの恩恵を受けていた。

2020会計年度の第2四半期および上半期のアジア太平洋地域の売上高は、前年同期比、それぞれ35%減少した。アジア太平洋地域での売上の減少は、主に、Hurco立形フライス盤の出荷量の減少によるものであった。これは、政府によるCOVID-19対策としてのテレワーク等の影響であった。

2020会計年度第2四半期受注は、36,553,000ドルで、前年同期比30,654,000ドル減少（46%減）であった。また、2020会計年度上半期受注は82,133,000ドルで、前年同期比53,081,000ドル減少（39%減）であった。

上の表は、会計2020年年度第2四半期および上

半期の地域別新規受注である（単位：千ドル）。

（Hurco News Release 2020年6月8日）

◆Mikron社、ベルリンとリトアニア子会社を売却

2020年7月1日、Mikron Groupは、ベルリンの子会社を処分するため、売却の署名を行った。この契約には、リトアニアのカウナスの子会社も含まれ、Callista Private Equityと契約と結んだ。2か所の拠点には合計約70人の従業員がおり、自動車産業関連の業務を行っている。契約当事者は、売却価格を開示しないことに同意した。

（Mikron media release 2020年7月2日）

4. その他

◆ユーザー関連トピックス

GM、韓国での電動車製造を現実

ゼネラルモーターズは、充電インフラの改善と国の補助金によりゼロエミッション車への欲求が高まる中、韓国での電気自動車の導入を拡大する。

水曜日に開催されたバーチャルメディアブリーフィングで、GMの自律および電気自動車プログラムの製造チーフエンジニア ジェシー・オルテガ氏は、韓国でのEV製造を実現するため真剣に取り組んでいると述べた。

今月、GMは2020 Bolt EVを発売した。このEVは、1回の充電で最大414km走行でき、韓国市場で利用可能である。2019年までの過去3年間で、合計9,322台のボルトEVが販売された。

GMによると、新商品は、将来の車両戦略として、衝突ゼロ、排出量ゼロ、渋滞ゼロへの取り組

みを体現している。

同社は、2020年から2025年まで、自社のEVおよび自動運転車プロジェクトに200億ドル以上投資する。「揺るぎない」戦略を推進するために、LG Chem Ltdなどの韓国のバッテリーサプライヤーと協力し続ける。

LG Chemは昨年、GMと50：50の合弁会社を設立し、オハイオ州ローズタウンに23億ドルのバッテリーセル工場を建設し、GMのEVモデルに供給した。プラントの建設は今年始まる予定である。

「LG Chemとの提携により、バッテリーテクノロジーが提供される。これにより、プラットフォームサイクルの早い段階で、1キロワット時あたり100ドルをはるかに下回るバッテリーコストを実現できると考えている。」と語った。

米国では、LG Chemがミシガンに別の自動車用バッテリー工場を保有する。中国、ポーランド、韓国でも自動車用バッテリーを生産している。
(Yonhap News 2020年6月21日)

ロシア自動車販売、52%減少

5月のロシアの新車および小型商用車の販売台数は52%減少し、63,033台であった。これは、コロナウイルスの発生により、全国の販売店が閉鎖されたためである。欧州ビジネス協会（AEB）のデータによると、5月の売り上げ増加を報告した唯一のブランドは、フィアット、いすゞ、ハベル、長安、一汽であった。

5月の下落が4月の市場の72%の崩壊ほど深刻ではなかったことは、明るいニュースである。

「最悪の事態が終わった兆候はある。」と、モスクワに本拠を置くAEB自動車製造委員会のトーマス・スターツェル会長は語った。

「ワークショップは5月に業務を再開し、その結果、顧客の往来は勢いを増した。6月にロシアの規制がほとんど解除されたことで、状況が若干改善し、ディーラーネットワークの持続可能性に

貢献することを願っている。」と同氏はニュースリリースで述べた。

スターツェル氏はまた、「政府支援策は、今年後半に市場の緩慢な回復に寄与するはずだ。」と付け加えた。

AutoVAZのLadaは5月に最も売れたブランドで、15,580台の販売し、前年同月比46%減少した。それにもかかわらず、Ladaは5月の市場シェアを昨年同月の22パーセントから24.7パーセントに上げることができた。

起亜自動車の売上台数は、8,008台（-59%）で第2位、現代は6,477台（-57%）と続いている。ルノーとトヨタは国のトップ5を締めくくった。フォードはかつて複数の組立工場を持つロシア市場でトップの競争相手であった、5月にはわずか4台、5か月では66台のみ販売した。

1～5月のロシアの販売累計台数は、前年同期比26%減の478,135台であった。
(Automotive News Europe 2020年6月30日)

自動車業界、USMCAコンプライアンス罰則を1年間回避か

米税関国境警備局の関係者によると、自動車メーカーとそのサプライヤーは、7月1日に発効する新貿易協定（USMCA）により、最大1年間コンプライアンス違反の罰金を免れる可能性がある。

米国－メキシコ－カナダ協定（USMCA）では、関税なしでアクセスできるようにするために、車両に北米のコンテンツが75%含まれている必要がある。これは、26年前の北米自由貿易協定に基づく62.5%より増加している。USMCAは、自動車の価値の40～45%が「高賃金」地域、つまり米国とカナダからのものであることも要求している。

NAFTAとは異なる方法でこの割合が決定されるため、企業はコンプライアンスの証明方法を変更する必要があり、北米製の鋼とアルミニウムを使用する新しい義務がある。

CBPの貿易担当副局長ブレンダ・スミス氏は記者団に対し、電話会議で自動車メーカーは2020年末までに現在の生産と将来の生産計画が3年または5年の段階的導入期間に新規則に準拠できることを完全に証明する必要があると語った。

しかし、2021年の最初の6か月間、エージェンシーは「情報に基づいたコンプライアンス期間」を適用し、その間、コンプライアンスに積極的に取り組んでいる企業の製品に懲罰的な義務を課すのではなく、コンプライアンスエラーを修正する方法について企業にアドバイスする。

「彼らは、移行期間中はある程度の柔軟性が必要であることを認識していると私たちは見ている。」とスミス氏は述べた。

コンプライアンスの猶予期間は先週、自動車サプライヤーに初めて明らかにされたと、モーターおよび機器メーカー協会の上級副会長であるアン・ウィルソン氏は述べた。彼女は、コロナウイルスのためにすでに流動性の問題に直面している小規模のサプライヤーにとってUSMCAの遵守は難しいだろうと語った。

「コンプライアンス文書を作成するために時間に猶予があることを嬉しく思います、課題がないわけではありません」と彼女は語った。

(Automotive News Canada 2020年7月1日付)

カナダ・BRP社、メキシコの生産能力を増強

BRP社(カナダ・ケベック州)は本日、オフロード車両(ORV)の需要に対応するためにメキシコに新工場を建設し、製造能力を増強していることを発表した。

このBRPの生産設備の拡張は、近年経験されたCan-Amサイドバイサイド車両(SSV)の需要増に対応することを目的としている。COVID-19による一時的な減速の後、5月の売上高は前年比で35%以上増加し、6月もこの傾向が続いた。

「パンデミックにもかかわらず、当社の製品の需要は引き続き堅調で、前年同期数字を超えた。」

と社長兼CEOのホセ・ボイジョリ氏は述べた。「当社の継続的なイノベーションとSSVの着実な成長により、この追加容量は30%の市場シェアを達成するという目標を達成するために必要になる。」と彼は付け加えました。

計画された工場は、フアレスに設立され、推定\$1億8,500万カナダドルの投資を行い、結果として最大1,000人の常勤雇用が創出される。21年度のBRPの総設備投資は、275百万カナダドルから300百万カナダドルの範囲になると予想されている。

メキシコ工場の建設は数か月以内に開始する予定で、2021年秋までに稼働する予定である。この新工場は、フアレスにある2つのオフロード製造施設と組み合わせることで、運用上の相乗効果を生み出す。

(BRPニュース 2020年7月2日)

中国、車内空気クオリティ規制

中国政府は、ドライバーの健康を保護するために強制力ある車内空気クオリティ規制導入を検討しており、自動車メーカーが市場から車両を輸入するコストを増加させる可能性がある、識者はロイターに語った。

世界最大の自動車市場における新車内大気クオリティ規則は、製品を微調整して新要件を満たす必要があることから、自動車内装部品サプライヤーにとっても頭痛の種になる可能性がある。

環境監視団体の関係者グループによると、新車両は、ドアが数時間閉鎖された後、車載環境テストをクリアする必要がある。

規制当局はホルムアルデヒドやベンゼンなどの汚染物質のレベルをテストする予定で、関係者はまた、電気自動車が多く電子機器を使用するため、電磁放射レベルのテストも望んでいる語った。

一部の顧客は電子機器からの放射線について懸念を表明しているが、中国自動車製造協会の関係

者は昨年、そのような放射線が人の健康に害を及ぼすことはないと言った。

中国は現在、グローバルメーカーが、車内の空気品質基準に関する認証なしで車を販売することを許可している。

2011年、中国の環境品質の監視機関は、乗用車の車中品質に関するガイドラインを発表したが、その基準は推奨であり、強制ではなかった。しかし、近年、中国政府は独自の車両認証基準を施行しようとしている。

(Automotive News China 2020年7月9日)

AIで進化するCNC

数値制御装置 (CNC) の開発メーカーは近年加工スピードや加工精度を向上させるため、新しい技術の導入を進めている。人工知能 (AI) もその1つで、ドイツのシーメンスは昨年開催されたハイテク見本市EMOでエッジを利用したアプリケーションソフトの「Analyze MyWorkspace/Vision」を披露した。同ソフトはAIを活用して生産プロセスにおける工具の選択を制御・分析し、機器の内部での正確なポジショニングを行うことを可能とするもので人が見分けられない小さな変化も探知することができる。

近年開発されたCNC関連の新技术にはチャックからの工具の着脱の自動化、ロボットの利用、加工プロセスの自動記録、生産性向上のためのアプリケーションの導入などがある。同社が開発したアプリケーションの1つ「コリジョンアボイダンス」は、プログラムにバグが含まれていたり、工具や工作物の選択を誤った場合に発生するコリジョンを避けることを目的としたもので、加工プロセスをリアルタイムで監視し、コリジョンが発生した場合にはすべての軸を自動的に停止させることができる。これにより画面上で修正を施し、作業を再開することが可能となる。同アプリケーションは同社のCNCコントローラ、SINUMERIKで利用されている。

(Mittelstand Nachrichten(1685) 6月12日付)

(<https://www.mittelstand-nachrichten.de/technologie/neuheiten-in-der-cnc-technik-2020-industrie-4-0/>)

参考：Siemens MyWorkpiece

(<https://new.siemens.com/global/en/markets/machinebuilding/machine-tools/cnc4you/fokus-digitalisierung/analyse-myworkpiece-tp.html>)

ダイムラーがベトナムのバス市場に参入

自動車大手の独ダイムラーは17日、ベトナムのバス市場に参入すると発表した。東南アジア事業を強化する狙い。現地同業のチュオンハイ自動車 (THACO) と手を組んで同国市場のニーズに見合った製品を投入する。

ダイムラーは下半期からブラジル南部のサン・ベルナルド・ド・カンポ工場で生産したシャシー部品をTHACOに提供。THACOはこれをチュライ工場でシャシーに組み立てたうえで車両を生産し、自らの販売網で売りさばく。

THACOはホーチミンに本社を置くベトナム最大の自動車メーカーで、大型トラックやバス、乗用車を生産している。従業員数は2万人。ダイムラーとは以前から協業関係にあり、三菱ふそうの製品を取り扱っている。

東南アジア (台湾を含む) は人口が6億2,200万人と欧州 (5億人) や米国 (3億人) を上回るうえ、人口の半数以上が30歳未満と若い。市場の将来性が高いことから、ダイムラーは同市場の開拓をグローバル戦略上、重視している。

ベトナムのバス市場規模は年3,500台 (8トン超) で、東南アジアで2番目に大きい。観光バスと乗り合いバスは移動手段として重要な役割を担っている。

(プレスリリース(1686) 6月17日付)

(<https://media.daimler.com/marsMediaSite/de/instance/ko/Daimler-Buses-vertreibt-kuenftig-Mercedes-Benz-Busse-in-Vietnam.xhtml?oid=46606422&ls=L2RlL2luc3RhbmNlL2tvLnhodG1sP29pZD0>)

00DM2MjU4JnJlbElkPTYwODI5JmZyb21PaWQ9NDgzNjI1OCZib3JkZXJzPXRydWUmcVzdWx0SW5mb1R5cGVJZD00MDYyNiZ2aWV3VHlwZT10aHVtYnMmZnJvbUluZm9UeXBISWQ9NDEwMTI!&rs=1)

VWが全個体電池の米社に追加出資

自動車大手の独フォルクスワーゲン（VW、ヴォルフスブルク）は16日、全個体電池開発の有力企業である米クアンタムスケープに追加出資すると発表した。電動車用次世代電池の本命と目される同電池の開発を加速することが狙い。

クアンタムスケープはスタンフォード大学からのスピノフとして10年に設立された企業で、カリフォルニア州サンノゼに事業拠点を置く。VWは研究開発で同社と12年から協力関係にあり、14年に資本参加に踏み切った。18年には1億ドルを追加出資するとともに、量産化に向けて合弁会社を設立。今回さらに出資額を2億ドル上乘せすることを決めた。

（プレスリリース（1687） 6月16日付）

（<https://www.volkswagen-newsroom.com/de/pressemitteilungen/volkswagen-erhoeht-anteil-an-quantumscape-6136>）

VWの5月販売台数、減少幅が34%に縮小

自動車大手の独フォルクスワーゲン（VW）が11日発表した5月のグループ新車販売台数は60万9,400台となり、前年同月を33.7%下回った。新型コロナ危機が反映された格好。ただ、欧州で自動車店の営業と生産が停止された前月（45%減）に比べると状況は改善している。

5月の西欧販売台数は57.3%減の14万7,400台、中東欧も同51.0%減の3万4,400台へと大幅に落ち込んだ。このほか、南米（68.9%減の1万7,000台）と中東・アフリカ（59.2%減の1万700台）で減少幅が大きかった。北米は39.0%減の5万2,800台、中国を除くアジア太平洋は28.1%減の1万6,700台。中国は5.7%増の33万300台となり、

VWの販売地区のなかで唯一、拡大した。

ブランド別の実績はVWブランド乗用車が29.7%減の35万9,800台、アウディが21.9%減の11万8,600台、シュコダが45.1%減の5万7,700台、セアトが65.0%減の1万9,100台、ポルシェが17.4%減の2万1,800台。商用車はVWブランド商用車が52.2%減の2万1,500台、MANが52.9%減の6,200台、スカニアが61.3%減の3,700台だった。

1～5月のグループ販売台数は308万9,000台で、前年同期を29.7%割り込んだ。すべての地区で減少。減少幅は西欧で39.2%、中東欧で31.0%、北米で26.9%、南米で34.0%、中国で20.0%、中国を除くアジア太平洋で19.6%、中東・アフリカで30.6%に上った。

ブランド別ではVWブランド乗用車が28.7%減、アウディが25.1%減、シュコダが34.7%減、セアトが38.0%減、ポルシェが15.0%減、VWブランド商用車が39.2%減、MANが34.3%減、スカニアが40.8%減だった。

（Automobilwoche（1688） 6月12日付）

（<https://www.automobilwoche.de/article/20200612/AGENTURMELDUNGEN/306129963/vw-konzernabsatz-brockelt-auch-im-mai>）

CO2多排出車の税額を来年から大幅引き上げ、車両税改正案を閣議決定

ドイツ政府は12日の閣議で車両税改正法案を了承した。国内の二酸化炭素（CO2）排出量を2030年までに1990年比で最低55%削減するという政府目標実現に向けた措置の一環として、車両のCO2排出量が多ければ多いほど税額を引き上げる意向だ。議会の可決を経て来年1月1日付で施行する。

政府は昨年9月、CO2排出削減目標の実現に向けた包括計画「温暖化防止プログラム2030」を閣議決定した。交通部門では排出量を40～42%引き下げる目標を掲げている。これを達成するためにはCO2排出量の多い車両を減らし電動車など

を増やす必要があることから、政府は車両税の改正を通して環境負荷の少ない車両の購入を消費者などに促していく。

車両税の額は動力源の種類と排気量の大きさ、およびCO₂の排出量に基づいて決定される。排気量に基づく課税部分は100立方センチメートル(ccm)当たりガソリン車で2ユーロ、ディーゼル車で9.5ユーロ。CO₂排出量に基づく課税部分は走行1キロメートル当たりの排出量が95グラム以下であれば非課税で、それを超えると1グラム当たり一律2ユーロが課される。排気量1,000ccm、CO₂排出量135グラムのガソリン車であれば税額は100ユーロ（排気量部分が20ユーロ、CO₂排出量部分が80ユーロ）となる。

政府はCO₂排出量に基づく課税部分を改正する方向で法案を作成した。CO₂排出量が多ければ多いほど、1グラム当たりの課税額が高くなるという累進型の税体系へと改める考え。排出量95グラム以下は非課税、同95～115グラムは2ユーロとする現行ルールを据え置くものの、115グラム超の車両では税額を引き上げる。法原案には115～135グラムで2.2ユーロ、135～155グラムで2.5ユーロ、155～175グラムで2.9ユーロ、175～195グラムで3.4ユーロ、195グラム超で4ユーロとすることが明記されている。195グラム超の車両ではCO₂排出量に基づく課税部分の負担が現在の2ユーロから倍増することになる。

電動車の普及促進に向けては電気自動車（EV）の車両税免除対象を拡大する。現行法では免除対象が今年末までに新車登録する車両に限られているが、これを同25年末までへと拡大する。

CO₂排出量が比較的少ない内燃機関車の販売も促進する。内燃機関車に比べて割高な電動車を購入できない世帯が多いことなどを踏まえた措置で、CO₂排出量95グラム以下の新車を対象に車両税額を30ユーロ引き下げる。期限は25年末まで。今月12日から24年末までに購入した新車に適用される。

（プレスリリース（1689） 6月12日付）

（<https://www.bundesregierung.de/breg-de/suche/kfz-steuer-1759368>）

水素が脱炭素化に果たす役割について共同宣言を発表 ＝EU5国間エネルギーフォーラム

ドイツ連邦経済エネルギー省（BMWi）のペーター・アルトマイヤー連邦経済省は16日に行われた5国間エネルギーフォーラム（Pentalateral Energy Forum：ドイツ、フランス、ベネルクス諸国、オーストリア、スイス）のビデオ会議において、エネルギーシステムの脱炭素化（特にガス部門）に果たす水素の役割について明言した共同宣言を発表した。

共同宣言の作成にあたっては、ブルガリア、ポルトガル、アイルランドからの協力を得ている。また、ルーマニアは共同宣言への支持を表明しているほか、他のEU加盟国も協力を検討している。

同フォーラムに参加したエネルギー担当大臣は、産業や輸送部門に代表されるような脱炭素化を達成できない、または他の方法では費用対効果に優れた方法で脱炭素化が達成できない重要セクターにおいて、水素は今後ますます重要になるとの見解を示した。そのため、水素インフラを構築し、グリーン水素を供給サイドおよび利用サイドの双方で迅速かつ協調的に実用化させる必要があるとした。

この共同宣言に先立って、ドイツ政府は10日「国家水素戦略」を閣議で了承している。

同フォーラムは、定期的な連携により欧州連合（EU）域内市場の発展を促すことを念頭に、エネルギーシフトの課題に取り組み、気候中立を目指すEUの政策を後押しすることを目的としている。

今回の共同宣言で同フォーラムはまた、欧州委員会に対し、水素経済の急速な拡大、特に純粋な水素パイプラインを視野に入れたインフラの開発、将来のEU水素市場における競争力のある有益な枠組み条件に向けた具体的なアプローチと法に則

した提案をEU加盟国と共に策定するよう要請した。

(SOLARIFY(1690) 6月15日付)

(<https://www.solarify.eu/2020/06/15/481-altmaier-wirbt-bei-eu-konferenz-fuer-wasserstoff/>)

参考：6月15日付 プレスリリース

(<https://www.bmwi.de/Redaktion/DE/Pressemitteilungen/2020/20200615-bundeswirtschaftsminister-altmaier-wirbt-bei-eu-konferenz-fuer-die-zukunftstechnologie-wasserstoff.html>)

共同宣言本体

(https://www.bmwi.de/Redaktion/DE/Downloads/P-R/penta-declaration-signed.pdf?__blob=publicationFile&v=4)

ノルウェー電池メーカー Northvolt、年間8000トンのバッテリーリサイクルに向け合併設立

ノルウェーの充電電池メーカー Northvolt とアルミメーカー Norsk Hydro は、バッテリーリサイクル事業で合併会社 Hydro Volt を設立する。エネルギー関連のニュースポータル『Energyload』によると、ノルウェー南部の町フレドリクスタにリサイクルセンターを設置する。年間処理能力は8,000トン。天然資源の使用量を減らし、持続的なバッテリー製造を実現することがねらい。投資額は900万ユーロで2021年に稼働を予定する。8,000トンのバッテリーは個数に換算すると1万6000個となる。この処理能力に関して両社は、今後、さらに拡充させることも視野に入れているという。

バッテリーは国内の電気自動車 (EV) から回収する。同国では2025年以降、内燃機関の新車登録を認めない方針だ。現在、新規登録車の半分以上がすでにEVとなっている。

合併会社によるリサイクル事業は、リサイクルアルミニウムの使用やコバルトなどの貴重なバッテリー素材の回収など、両社にとってメリットがあるものとなる。

(Energyload(1691) 6月14日付)

(<https://energyload.eu/elektromobilitaet/elektroauto/batterie-recycling-northvolt/>)

スペイン政府、自動車産業の支援に37億5,000万ユーロを拠出

スペイン政府はこのほど、コロナ禍で大きな打撃を受けた自国の自動車産業に対し37億5,000万ユーロを支援すると発表した。Pedro Sánchez首相は同業界が置かれている状況を「危機的」と表現。電気自動車 (EV) 購入の際に補助金を支給することで「持続可能なモビリティ」への移行を促進としている。

自動車業界はスペインにおける最重要産業のひとつで、国内総生産の10%を占めるほか200万件の雇用を創出している。スペインでは自動車製造が中断されているほか、販売台数も大幅に減少した。VW子会社のSeatでは5月の販売台数が65%減まで落ち込んでいる。

(Automobilwoche(1693) 6月16日付)

(<https://www.automobilwoche.de/article/20200615/AGENTURMELDUNGEN/306159992/spanien-will-milliarden-hilfspaket-fur-autoindustrie-schnuren>)

VAT引き下げなどを閣議決定

ドイツ政府は12日の閣議で、新型コロナウイルスの感染拡大で悪化した景気の底支え策を了承した。付加価値税 (VAT) 率の引き下げなどを通して消費者や企業の負担を軽減し、経済の立て直しを図る。29日の連邦議会 (下院) と連邦参議院 (上院) で可決させる意向だ。

7月1日から年末までの半年間、付加価値税の標準税率を19%から16%、軽減税率を7%から5%へと引き下げる。期間を限定することで消費を喚起する考え。小売店が減税に伴う値下げを行う場合、手間暇のかかる値札替の義務は免除する。

閣議ではこのほか、◇子持ち世帯に子供1人当たり300ユーロを支給する◇一人親世帯の税控除

枠を今年と来年、本来の1,908ユーロから4,008ユーロへと拡大する◇企業の資金繰りを支援するために今年と来年の損失を過去の利益と相殺する際
の上限額を拡大する◇企業の投資を促進するために法定の減価償却額を今年と来年、引き上げる◇研究投資に対する税優遇の上限を25年末まで拡大する——案も了承された。

(プレスリリース(1694) 6月12日付)

(<https://www.bmwi.de/Redaktion/DE/Pressemitteilungen/2020/20200612-unbuerokratische-umsetzung-der-mehrwertsteuersenkung-bei-preisangaben-durch-pauschale-rabatte-moeglich.html>)

PI4.0、コロナ後のデジタル事業モデルについて10項目の論点を発表

インダストリー 4.0に関するドイツの産官学の推進団体、プラットフォーム・インダストリー 4.0はこのほど、コロナ後のデジタルビジネスモデルについて10項目の論点をまとめたディスカッションペーパーを公開した。同文書は、作業部会「デジタルビジネスモデル」が作成したもの。コロナの感染拡大の影響についてインダストリー 4.0に関連し、短期的な危機管理にとどまらず、将来に向けた戦略的な対応オプションを考えるうえで、インスピレーションを与えるものと期待される。提案された論点は以下の10項目。

- 1) 拡張性の高いデジタルインフラと高性能な通信ネットワークの重要性の増大
- 2) 柔軟性と俊敏性が競争力の基本になる
- 3) 新たなビジネスケースとしての価値創造ネットワークの回復力（レジリエンス）
- 4) 構造と付加価値をより現地生産に適合させる
- 5) 新しいエコシステムとマーケットプレイスの出現
- 6) 革新的な収益モデルの拡大
- 7) 能力要件のさらなる変化
- 8) リモートサービスの重要性の増大（生産現場

の「物理的な距離」)

9) 仕事の柔軟化が進む：仕事と学習の新しい形が現れる

10) 持続可能性を実現する手段としてのデジタル化

(all-electronics.de(1698) 6月9日付)

(<https://www.all-electronics.de/10-thesen-fuer-industrie-4-0-geschaeftsmodelle-nach-corona/>)

参考：ディスカッションペーパー本体（ドイツ語、PDF、5ページ）

(https://www.plattform-i40.de/PI40/Redaktion/DE/Downloads/Publikation/Corona_Thesen.pdf?__blob=publicationFile&v=5)

機械メーカーの8割が22年の売上回復を予想

ドイツ機械工業連盟（VDMA）は18日、会員企業658社を対象に16～17日の2日間、実施したアンケート調査の結果を発表した。それによると、2022年までに19年の売上水準を回復するとの回答は80%に達した。特に比較的小さな企業で見通しが明るく、年商2億5,000万未満のメーカーでは「21年回復」との回答が約40%に上り、同5億ユーロ以上の22%を大きく上回った。

回復の障害として新型コロナのパンデミック（世界的流行）以外の要因を挙げる企業も多く、「価格競争の激化」を障害とする回答は約70%、通商障壁の増加も同50%強に上った。

需要は低迷が続いており、受注減・キャンセルの規模が「深刻」との回答は40%、同規模が「大きい」も40%に上った。今後3カ月の需要見通しについては「減少する」が前回調査の20%から22%へと拡大。「増加する」は29%から21%へと縮小した。

生産能力を調整している企業は80%を超えた。操業時間を短縮する企業も全体の約3分の2に上る。

一方、サプライチェーンに支障は改善しており、「深刻な支障」ないし「大きな支障」があるとの

回答は計18%にとどまった。「支障が小さい」と「支障がない」は計82%と多い。サプライチェーンの支障は4月中旬の調査をピークに減少している。

VDMAは新型コロナが経済に大きな影響をもたらすようになったことを受けて、3月中旬に第1回目の調査を実施した。今回は6回目となる。

(プレスリリース (1701) 6月18日付)

(<https://www.vdma.org/v2viewer/-/v2article/render/49288787>)

VW商用車が本社工場の従業員を3分の1削減

独自動車大手フォルクスワーゲン (VW) の小型商用車子会社 VW ブランド商用車 (VWN) は2029年までにハノーバー本社工場の従業員およそ5,000人を削減する計画だ。同工場の総従業員の3分の1を整理することになる。VWNのトーマス・ゼトラン社長が業界紙『アウトモビルボッヘ』に明らかにした。

同社は18年末、従業員代表の事業所委員会との間で、ハノーバー工場の従業員数を年300～400人のスピードで削減していくことを取り決めた。コスト高のドイツで低価格帯の小型商用車を生産していくことはできないためだ。そうした車両は今後、ポーランドで生産するか、戦略協業先の米フォードから調達する。ハノーバー工場は高価格帯の製品に特化。22年からは電気自動車 (EV) モデル「ID バズ」の製造も開始する。

人員削減は定年退職と早期退職を通して進める計画で、整理解雇は行わない。

ポーランドの工場では現在、ミニバン「キャディ」と大型バン「クラフター」を生産している。昨年の生産台数は約27万台。

(FAZ(1702) 6月22日付)

(<https://www.faz.net/aktuell/wirtschaft/unternehmen/vw-nutzfahrzeuge-will-5000-stellen-streichen-16825353.html>)

VW、車載ソフトユニットが7月始動

独フォルクスワーゲン (VW) グループ全体の車載ソフトウェアを開発する事業ユニットは7月1日付で活動を開始する予定だ。同ユニットの統括責任者クリスティアン・ゼーグナー氏が20日、明かにしたもので、同氏は「フォルクスワーゲンは車両アーキテクチャーに対する主導権を完全に掌握する考えだ。エレクトロニクスも含めてね」と明言した。

自動車には現在、多数の制御機器が搭載されている。例えばVWブランド乗用車の車両には200社に上るサプライヤーが供給する制御機器が最大70個、搭載。これらの機器にはそれぞれソフトが搭載されていることから、スムーズに連携させるのは大きな手間となっている。同社はグループの全車両に共通のOS「vw.os」を搭載することで、この問題を解決する考えだ。

VWはこの課題に取り組みために車載ソフト開発ユニットを新設し、2024年までにOSを完成させる計画。車載ソフトの内製比率も25年までに現在の10%未満から60%へと引き上げていく。

ゼーグナー氏はソフト開発で提携、合併、出資といった手段を活用することに前向きな姿勢を示した。ただ、VWがアーキテクチャーの主導権を完全に掌握し、グループの車両の標準を自ら設定することを前提条件としており、「(VWグループ) 車のデータに第三者が全面的にアクセスすることはできない」と強調した。

(FAZ(1703) 6月19日付)

(<https://www.faz.net/agenturmeldungen/dpa/vw-software-einheit-startet-im-juli-16822942.html>)

BMW、従業員6,000人削減へ

自動車大手の独BMW (ミュンヘン) は19日、人事措置に関する取り決めに従業員の代表機関である事業所委員会と締結したと発表した。新型コロナ危機に対応するためにコストを削減することが主な柱で、従業員12万6,000人のうち6,000人

を整理する。人員削減は定年退職と希望退職を通して進める。

新型コロナ危機を受けて、新車需要は世界的に減少している。早期回復を見込めないことから、各社は対応を迫られている。

BMWは今回、人員削減のほか、週40時間契約の従業員の勤務時間を38時間に減らすことなども取り決めた。

(プレスリリース (1704) 6月19日付)

(<https://www.press.bmwgroup.com/deutschland/article/detail/T0309705DE/bmw-ag-vereinbart-zukunftsfaehiges-personalmassnahmenpaket>)

BMWとダイムラーが自動運転開発協業を凍結

独高級車大手のダイムラーとBMWは19日、次世代自動運転技術の開発協業を当面、停止すると発表した。サプライヤーを交えて専門家レベルで協議したところ、コストがかさむことが判明したため。新型コロナウイルスの感染拡大を背景に事業環境が悪化していることもあり、棚上げを余儀なくされた格好だ。将来的に協業を再開する可能性はあると強調している。

両社は昨年7月、次世代の自動運転技術と先進運転支援システム(ADAS)を共同開発することで最終合意した。自動車業界では電動車、コネクテッドカー、自動運転車の技術開発が財務の大きな圧迫要因となっていることから、協業を通してコストを削減するとともに、新技術を早期に実用化する狙いがあった。

新型コロナ危機の発生を受けて、世界の自動車市場は大幅に縮小している。自動車各社は業績を強く圧迫され、コストを可能な限り切り詰めなければならない状況だ。

両社は現行世代の自動運転技術をそれぞれ別個に開発している。ダイムラーはサプライヤー大手のボッシュと協業。BMWもコンチネンタル、インテル、モービルアイ、アンシス、フィアット・クライスラー・オートモービルズ(FCA)などと

アライアンスを形成している。BMWのクラウド・フレイリヒ取締役(開発担当)は「我々の現行世代の技術は極めて大きく長期的なポテンシャルを秘めている。高性能のセンサーとコンピューターを持つ我々のモジュール・システムは顧客が必要とするものを何年にも渡って提供することができる」と述べ、当面は現行世代の技術で対応できるとの認識を示した。

BMWとダイムラーはそれぞれ、既存・新規のパートナーとともに独自の開発路線を歩むことになる。

(プレスリリース (1705) 6月19日付)

(<https://www.press.bmwgroup.com/deutschland/article/detail/T0309712DE/partnerschaftliche-entscheidung%3A-bmw-group-und-mercedes-benz-ag-lassen-entwicklungskooperation-fuer-automatisiertes-fahren-vorerst-ruhen-%E2%80%93-3-spaetere-wiederaufnahme-moeglich?language=de>)

産官学連携の「北ドイツ・リビングラボ」プロジェクト、グリーン水素活用で計3億5,500万ユーロを25事業に投入

ドイツ北部で実施される産官学連携プロジェクト「北ドイツ・リアルラボ」は21日、プロジェクトの概要を発表した。同プロジェクトはドイツ連邦政府の水素ガス戦略を具体化させる事業のひとつ。北ドイツのエネルギーシフトに向け、水素の活用を推進する。産官学から約50の団体が参加し、25の事業を実施する。今後数年間で計3億5,500万ユーロが投じられる。このうち1億2,200万ユーロを連邦政府が助成する。

前身となる「北ドイツ・エネルギーシフトNEW 4.0」はハンブルクとシュレスヴィヒ＝ホルシュタイン州のみで実施されていたが、今後はメクレンブルク＝フォアポンメルン州も参加する。計画ではグリーン水素ガスの生産と利用に関する12件のデモプラントの建設およびプロジェク

トが予定されている。2023年までに同地域のCO2の75%を削減することが目標となる。

(Sueddeutsche Zeitung(1708) 6月22日付)

(<https://www.sueddeutsche.de/wirtschaft/energie-hamburg-nord-laender-werden-reallabor-fuer-die-wasserstoff-strategie-dpa.urn-newsml-dpa-com-20090101-200621-99-505388>)

EU、水素社会の実現に向けた戦略を策定

欧州連合(EU)が来月発表する水素エネルギーの普及に向けた戦略ペーパーの概要が先ごろ明らかになった。ドイツ紙『ハンデルツブラット』などが報じたところによると、同戦略はバリューチェーン全体にわたる分野で加盟国が協力していくことでEUの技術的優位を確立することを目標としており、CO2を排出しないいわゆる「グリーン水素」を最大限普及させるための施策などが提案されている。EU域内での「グリーン水素」導入の2050年までの数値目標のほか、「グリーン水素」の生産拡大を支援する大型プロジェクトの実施などを通して生産量を拡大し「グリーン水素」の価格引き下げを実現していく計画などが盛り込まれている。EUは同戦略に合わせて民間企業などが参加する作業グループを発足させ、同戦略の実施を着実に進めていく考えだ。

来月8日に発表される同戦略は「欧州における水素経済に向けた戦略的見通し」と題するもの。同戦略ではグリーン水素の100%導入はコスト的な理由から困難だとし、当面は天然ガスからの精製過程で発生したCO2を地中に貯蔵する「ブルー水素」も活用していくとしている。将来的には現在1キログラム当たり3.5ユーロから5ユーロの「グリーン水素」の価格をCO2が空气中に放出される「グレー水素」の価格と同水準の1.5ユーロまで引き下げることが目標に設定。EU域内における水素エネルギーの経済規模を現在の20億ユーロから2030年までに1,400億ユーロまで拡大し、14万人の雇用を創出するとしている。

一方、EUにおける現在の水素の生産能力は年間980万トンだが、そのうち再生可能エネルギーから生産された水素の割合は4%にとどまっている。同戦略では「グリーン水素」と「ブルー水素」が占める割合について、2050年までの数値目標を設け、生産拡大を実現する予定だ。

水素価格については、EUの支援の下に実施される太陽光および風力を利用した設備容量40ギガワットの2つの大規模プロジェクトを通じて、グリーン水素の価格を1キログラム当たり1ユーロから2ユーロまで引き下げることが可能としている。

同戦略では政府関係機関の助成金を適度な水準に抑えつつ、民間主導で水素社会に移行していくため、航空機、鉄道、大型トラックまたは船舶の燃料として水素を活用していくべきと提言している。また、肥料、鉄鋼、化学およびセメントといった産業での利用を促し、水素の需要を大きく増やしていくことが提案されているほか、ユーロが水素取引の決済通貨となる可能性も指摘されている。

EUは来月の同戦略の発表に合わせ、欧州の水素エネルギーに関する協力組織を発足させる予定だ。同組織の下には各社のCEOなどからなるラウンドテーブルを複数設置する。当初は生産、輸送、モビリティ、産業、エネルギー及び熱供給の6つの分野について検討し戦略の実施を後押ししていく予定だ。

(pv magazine(1710) 6月19日付)

(<https://www.pv-magazine.de/2020/06/19/durchgesickert-eu-wasserstoffstrategie-strebt-bis-2030-einen-umsatz-von-140-milliarden-euro-an/>)

参考：6月18日付 Handelsblatt

(<https://www.handelsblatt.com/politik/international/wasserstoffstrategie-die-eu-kommission-setzt-auch-auf-den-umstrittenen-blauen-wasserstoff/25928350.html?ticket=ST-29958-BsXsq70yDahx4ezS5U3n-ap4>)

政府プラットフォームI4.0、コロナ危機をI4.0推進のチャンスととらえる声明を発表

ドイツ政府の産業イニシアティブ「プラットフォーム・インダストリー 4.0」は6月23日、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて「インダストリー 4.0と COVID-19」と題する声明を発表した。COVID-19の感染拡大は、ドイツがオープンでデジタルなエコシステムにおけるグローバルな先駆者となるチャンスであり、同時にチャレンジであると主張している。

コロナを製造のネットワーク化のトレンドを加速させるものと位置づけ、政府の景気対策を活用して、特に自動車製造および関連産業のデジタル化を推進させる契機にしたいとした。加えて、ドイツおよび欧州産業の競争力を確保するためには、インダストリー 4.0を欧州デジタルクラウド計画「GAIA-X」と組み合わせていくことが重要であるとした。

また、プラットフォーム・インダストリー 4.0の運営委員会は、「インダストリー 4.0のミッションステートメント 2030 (Leitbild 2030 für Industrie 4.0)」で、デジタル B2B エコシステムの開発のための概念的なフレームワークを提示し、業界にその実装を推奨している。プラットフォーム・インダストリー 4.0運営委員会のフランク・メルツァー代表は「主権、相互運用性、持続可能性という3つの優先事項を定めたミッションステートメント 2030は、コロナ危機から抜け出し、オープンでデジタルなエコシステムにおけるグローバルな先駆者となるための優れたフレームワークを提供する」と強調した。

(プレスリリース(1717) 6月23日付)

(<https://www.plattform-i40.de/PI40/Redaktion/DE/Downloads/Publikation/Positionspapier-Covid19.html>)

参考：声明文 (PDF、ドイツ語、3 ページ)

(https://www.plattform-i40.de/PI40/Redaktion/DE/Downloads/Publikation/Positionspapier-Covid19.pdf?__blob=publicationFile&v=2)

(<https://www.plattform-i40.de/PI40/Navigation/DE/Industrie40/Leitbild2030/leitbild-2030.html>)

「Leitbild 2030 für Industrie 4.0」のHP

(<https://www.plattform-i40.de/PI40/Navigation/DE/Industrie40/Leitbild2030/leitbild-2030.html>)

6月25日付 K-Zeitung

(<https://www.k-zeitung.de/corona-und-industrie-4-0-die-krise-als-chance/>)

自動車業界向け欧州燃料電池市場、2040年までに6万8,000人の雇用を創出＝VDMA調査

ドイツ機械工業連盟 (VDMA) は6月26日、自動車業界向け欧州燃料電池市場の未来を予測する調査レポートを発表した。「パワートレインの変化：燃料電池テクノロジーが機械・設備および関連産業に与える影響 (Antrieb im Wandel – Auswirkungen der Brennstoffzellentechnologie auf den Maschinen- und Anlagenbau und die Zulieferindustrie)」と題する当該調査レポートは、VDMAの委託を受けコンサル会社FEV Consultingが作成したもの。

同レポートは、燃料電池車の市場シェアは2040年までに12%に達すると予測。関連業界において6万3,000人の雇用を創出し、欧州の機械製造業でも5,000人の雇用が見込めるとした。需要が見込める分野としては、重量の大きい商用車を挙げた。公道を走行しないフォークリフトや鉄道・造船分野でも利用が進むと分析している。

また、パワートレインの移行を成功させるには、公的資金の導入が不可欠であると提言。この先数年の研究開発費として、世界全体で毎年500億ユーロ程度が必要とした。

(プレスリリース(PDF) (1719) 6月26日付)

(https://www.vdma.org/documents/266699/494170/10/20-06-26%20PI%20Studie%20Antrieb%20im%20Wandel_1593093399817.pdf/64008205-0437-664b-02c8-dacaa6f1f44b)

SEGオートモーティブ、独北部の工場を閉鎖

自動車部品大手の独SEGオートモーティブ（シュツットガルト）は6月25日、同国北部のヒルデスハイム拠点での生産を停止することを明らかにした。新型コロナ危機で激減した需要の回復には時間がかかると予想されることから、過剰となった生産能力を削減する。地元紙『ハノーバーシェ・アルゲマイネ・ツァイトゥング』が報じ、同社が追認した。

ヒルデスハイム工場を来年末までに閉鎖。同拠点の事業をサービスと開発に絞り込む。従業員およそ500人が工場閉鎖の影響を受ける。経営陣は世界14カ国の従業員およそ7,000人のうち1,100人を整理する意向だ。

SEGは独自動車部品大手ボッシュのスターター・発電機事業を前身とする企業。ボッシュは2017年、中国の自動車部品会社である鄭州煤礦機械集団（ZMJ）と投資会社のチャイナ・ルネッサンス・キャピタル・インベストメント（CRCI）のコンソーシアムに同社を売却した。

（Reuters（1721） 6月25日付）

（<https://de.reuters.com/article/deutschland-seg-automotive-idDEKBN23W1D5>）

自動運転などでメルセデスがエヌビディアと協業

高級車大手の独メルセデスベンツは23日、車載コンピューティングシステムの開発で米IT大エヌビディアと協業すると発表した。人工知能（AI）をベースとするエヌビディアの自動運転プラットフォーム「エヌビディア・ドライブ」をベースとする技術を2024年から次世代の全メルセデス車搭載。自動運転機能をはじめとする最新のソフトウェアを無線（OTA）アップデートできるようにする。メルセデスのオラ・ケレニウス社長は「新しい機能とアップデートをクラウドからダウンロードできるようになる。そうすることでわが社は、安全システムを継続的に最新の状態に保ち、車両の価値を常に向上させていく」と述べた。

両社は米自動車技術者協会（SAE）が定める自動運転のグレードで「レベル2」と「レベル3」の機能を共同開発する（駐車では「レベル4」まで）。顧客は自動運転機能のアップデートのほか、娯楽ソフトなどをダウンロードすることもできる。

メルセデスは次世代の自動運転技術を競合BMWと共同開発し、24年から自社の車両に搭載するとした計画の凍結を19日に明らかにしたばかり。

（プレスリリース（1722） 6月23日付）

（<https://media.daimler.com/marsMediaSite/de/instance/ko/Automatisiertes-Fahren-Mercedes-Benz-und-NVIDIA-wollen-Software-definierte-Fahrzeugarchitektur-fuer-kuenftige-Fahrzeugflotte-aufbauen.xhtml?oid=46665504&ls=L2RIL2luc3RhbmNIL2tvLnhodG1sP29pZD00ODM2MjU4JnJlbElkPTYwODI5JmZyb21PaWQ9NDgzNjI1OCZib3JkZXJzPXZ2aWV3VHlwZT10aHVtYnMmZnJvbUluZm9UeXB1SWQ9NDEwMTI!&rs=1>）

水電解プラントを電力需給調整に活用、ティッセンとエーオンが商業化に成功

鉄鋼系複合企業の独ティッセングループは6月30日、同社製水電解水素製造プラントを送電網の電力需給調整に投入するテストをエネルギー大手のエーオンと共同で実施し、成功したと発表した。同プラントは必要に応じて柔軟かつ迅速に電力を供給するという電力需給調整市場の参加要件を満たしており、同プラントを持つ顧客企業はエーオンの仮想発電所を通して独電力市場に連結できるようになった。

ドイツでは再生可能エネルギー電力の普及拡大を受けて、電力の需給調整が難しくなっている。再生エネは発電量を風力や太陽光など天候に大きく左右されるためだ。供給量が不安定な再生エネを補うためには火力や原子力などの在来型発電所が活用されているが、両社は水電解プラントも電

力需給調整に活用できることを実証した。

ティッセンの水電解プラントでは、再生エネで過剰に生産された電力を用いて水素を生産し貯蔵。必要に応じてこれを化学品の生産や燃料電池車の動力源に用いるほか、再電力化して電力市場で販売できる。送電網の電力が不足している場合は30秒以内に電力を供給できるという。

(プレスリリース(1724) 6月30日付)

(<https://www.thyssenkrupp.com/de/newsroom/pressemeldungen/pressedetailseite/wasserelektrolyse-von-thyssenkrupp-fur-regelenergiemarkt-qualifiziert--eon-und-thyssenkrupp-bringen-wasserstoffanlagen-an-den-strommarkt-83357>)

「グローバル化の時代は終わった」、輸出主導モデルの見直しを提言

世界経済のグローバル化が進展する時代は過ぎ去ったとする見解を、バイエルン州立銀行とコンサルティング会社プログノスが共同調査の結論として打ち出した。輸出をけん引車とするドイツの経済成長モデルを見直すべきだと提言している。調査レポートを入手した『フランクフルター・アルゲマイネ』紙が6月26日付で報じた。

世界の貿易は現在、米中通商摩擦と新型コロナ危機を受けて低迷している。同レポートによると、この状況は一過性の現象にとどまらない可能性がある。

背景には2008年の金融危機以降、製造業を中心とする資本集約型の社会から機械などのニーズが少ないサービス中心型の社会への転換が、欧米だけでなく東アジアでも進んでいることがある。バイエルン州立銀のチーフエコノミストであるユルゲン・ミシエルス氏は、これまで世界経済をけん引してきた巨大市場の中国でその傾向が鮮明になっていることから、「2000年代のようなグローバル化がコロナ危機後に再来することはない」と断言。ドイツ企業はこの変化を踏まえ、人口と1人当たりの所得が急速に増加している中国以外の

市場開拓を強化すべきだと指摘した。そうした市場としてインド、イラク、フィリピン、ベトナム、エジプト、インドネシア、ナイジェリアを挙げている。

ただ、これらの市場は中国市場縮小の穴を相殺するには規模が小さ過ぎることから、独企業は事業モデルを改める必要があるとしている。

(FAZ(1730) 6月26日付)

(<https://www.faz.net/aktuell/wirtschaft/mehrwirtschaft/globalisierung-neues-geschaeftsmodell-fuer-deutschland-16832280.html>)

マックスプランクMPIEとフラウンホーファーILT、「ダマスカス」タイプの金属3Dプリント技術を開発

マックスプランク鉄鋼研究所(MPIE)とフラウンホーファー・レーザー技術研究所(ILT)の研究者たちはこのほど、「ダマスカス」タイプの硬質な金属3Dプリント技術を開発した。3Dプリンタ業界のニュースサイト『3D-grenzenlos Magazin』によると、今回開発された技術によって成型された鉄鋼は、非常に硬くて頑丈な刀剣の刃として古代に使用されたダマスカス鋼のような性質を実現しているという。研究の成果は、両研究機関の研究者が科学誌『ネイチャー』に発表した。MPIEのホームページによると、この技術を利用すれば各層の硬さを個別に設定することが可能となる。航空宇宙産業向けの部品や工具の製造分野における活用が期待できるという。

これまでもこのような性質を有する合金技術は存在していたが、レーザーにより加熱しながら積層することで熱による後処理を必要とせずに各層の性質を変えることができるようになった点が特長という。

(3D-grenzenlos(1735) 7月2日付)

(<https://www.3d-grenzenlos.de/magazin/forschung/3d-druck-von-damaszener-stahl-27606723/>)

電動車購入補助金、8日から引き上げ

ドイツ連邦経済省は7日、電動車購入補助金を引き上げると発表した。消費者は電気自動車(EV)と燃料電池車(FCV)、プラグインハイブリッド車(PHV)をこれまで以上に低価格で購入できるようになる。

同補助金は電動車の普及を促進するために2016年7月に導入された。これまでの補助金額はカタログ価格4万ユーロ以下のEVとFCVで6,000ユーロ、同4万ユーロ超のEVとFCVで5,000ユーロ、4万ユーロ以下のPHVで4,500ユーロ、4万ユーロ超のPHVで3,750ユーロ。補助金は国と各メーカーが折半してきた。

政府は新型コロナ危機対策の一環として先月、同補助金の国の負担部分を時限付きで2倍に増やす法案を作成した。同法案は議会の可決を経て7日の官報に掲載されたことから、8日付で発効した。

国の補助金が増える結果、例えば4万ユーロ以下のEVであれば購入者は9,000ユーロの補助金(国が6,000ユーロ、メーカーが3,000ユーロを負担)を受けられるようになる。支給対象となるのは(1)今年6月3日から来年末までに新車登録する車両(2)昨年11月4日以降に新車登録された車両で今年6月3日から来年末までに中古車としての登録を初めて行うもの。(2)は(1)に比べて補助金額が低い。

(プレスリリース(1736) 7月7日付)

(<https://www.bmw.de/Redaktion/DE/Pressemitteilungen/2020/20200707-hoehere-foerderung-fuer-elektrofahrzeuge.html>)

BMW 上期販売23%減少、中国は第2四半期に17%増加

高級乗用車大手の独BMWが7日発表した上半期(1~6月)のグループ新車販売台数は96万2,575台となり、前年同期比で23.0%減少した。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて世界各地

で販売店の営業が停止されたことが響いた格好。ピーター・ノタ取締役(ブランド・販売担当)は、世界各地の需要動向に柔軟に対応していく考えを表明した。

主力ブランドBMWの上半期販売台数は84万2,153台で、前年同期を21.7%下回った。小型車ブランドのミニは31.1%減の11万8,862台、ロールスロイスは37.6%減の1,560台だった。グループの電動車(電気自動車とプラグインハイブリッド車)は3.4%増の6万1,652台とやや拡大した。

BMWとミニの合計販売台数を地域別でみると、足元の欧州は32.3%減、南北アメリカ大陸も30.5%減と大きく落ち込んだ。アジアは8.1%減で、同地最大の中国は6.0%減だった。

第2四半期(4~6月)のグループ販売台数は48万5,701台で、前年同期を25.3%割り込んだ。BMWが23.2%減、ミニが38.2%減、ロールスロイスが46.8%減とすべてのブランドで大きく減少。グループの電動車も4.9%減と振るわなかった。

BMWとミニの地域別合計販売台数では欧州が45.6%減、南北アメリカ大陸が41.1%減と大きく落ち込んだのに対し、アジアは7.5%増加した。中国が17.1%増えてアジア販売が強く押し上げられた。

(プレスリリース(1737) 7月7日付)

(<https://www.press.bmwgroup.com/global/article/detail/T0310685EN/bmw-group-increases-sales-of-electrified-vehicles-in-first-half-year-despite-covid-19?language=en>)

ボツシュ、独操舵システム工場で人員削減

自動車部品大手の独ボツシュは2日、同国西南部のシュベールビッシュ・グミュントにある操舵システム工場での人員削減計画で従業員代表と合意したと発表した。4,700人のうち1,850人を2026年末までに整理する。経営上の理由による整理解雇は行わない。

同社は昨年10月、競争激化を理由にシュベール

ビッシュ・グミュント工場で人員削減を実施する方針を表明。従業員代表の事業所委員会との間で交渉を続けてきた。人員削減については高齢者早期退職制度や自主退社を通して進めることを取り決めた。

同工場の将来の競争力を保つために総額3億5,000万ユーロを26年末までに投資することでも合意した。新製品や新しい生産技術の開発、ソフトウェア、デジタル化に資金を投じる。

(FAZ(1739) 7月4日付)

(<https://www.faz.net/aktuell/wirtschaft/unternehmen/bosch-streicht-1850-stellen-16844463.html>)

メルセデスが中国電池メーカーと戦略協業

独ダイムラーの乗用車・バン子会社メルセデスベンツは3日、中国のリチウムイオン電池メーカー、ファラシス・エナジーと戦略協業合意したと発表した。2039年までにカーボンニュートラルを実現するという目標実現に向けた取り組みの一環。ファラシスに資本参加するほか、高性能電池セルの開発で協力する。同社が中国の電池メーカーに出資するのは初めて。

ファラシスは02年に米カリフォルニア州のシリコンバレーで設立された。従業員数は現在3,500人強。米国と中国に研究センターがあり、中国の江西省カン州市と江蘇省鎮江市に計2工場を持つ。本社は現在、江西省カン州市に置かれている。

メルセデスは昨年9月、ファラシスからセルを調達することで合意した。ドイツと米国、中国の工場生産する電動車向けのセルの供給をファラシスから受ける。

ファラシスは独米でのメルセデスへの供給に向けて両国に工場を建設する計画。独工場は同国東部のビッターフェルト・ヴォルフエンに設置することが決まっている。

今回の戦略協業合意ではメルセデスがファラシスの新規株式公開(IPO)に際して株式およそ3%

を引き受けることを取り決めた。出資額は百万ユーロのケタ台という。ファラシスの監査役会に役員1人を派遣する。

開発面では◇電動車の航続距離を大幅に引き上げるために電池密度を引き上げる◇充電時間を大幅に短縮できるようにする◇新規開発したセルの量産化を迅速に実現する——ために協業する。

(プレスリリース(1740) 7月3日付)

(<https://media.daimler.com/marsMediaSite/de/instance/ko/Electric-first-Mercedes-Benz-setzt-seine-Strategie-in-der-Transformation-zu-CO2-neutraler-Mobilitaet-fort-Mercedes-Benz-verkuendet-strategische-Partnerschaft-und-Beteiligung-an-Batteriezellenhersteller-Farasis.xhtml?oid=46718447&ls=L2RIL2luc3RhbmNIL2tvLnho dG1sP29pZD00ODM2MjU4JnJlbElkPTYwODI5JmZy b21PaWQ9NDgzNjI1OCZib3JkZXJzPXRydWUmcmV zdWx0SW5mb1R5cGVJZD00MDYyNiZ2aWV3VHlw ZT10aHVtYnMmZnJvbUluZm9UeXBISWQ9NDEwMTI!&rs=5>)

独経済省、Eモビリティをエネルギーシステムに統合する事業プロジェクトを公募

ドイツ連邦経済エネルギー省(BMWi)は2日、Eモビリティのエネルギーシステムへの統合を推進するための事業プロジェクトを公募すると発表した。エネルギーおよび気候保護目標に向けたEモビリティのポテンシャルを引き出し、同時にドイツ産業の競争力を強化することを目指す。予算は景気対策パッケージから計約1億8,000万ユーロを充てる。今年9月30日まで事業概要を募集する。

BMWが今回公募する事業は以下の重点分野5項目。

- 1) メーカーや国を超えた充電インフラと車両の相互運用性
- 2) 高速・高効率の充電システムで特に商用・重量貨物車両に関するもの

3) 自動運転向けの自動または非接触型充電システムおよび充電インフラと電力市場を統合する実用的なビジネスモデルの実証実験

4) 充電インフラ4.0：エネルギーシフトに向けたスマート・メーター・ゲートウェイを活用したインテリジェントでセキュアな電力市場とグリッドを指向した充電。

5) 明確なコスト削減、大幅な機能拡張、車両およびフリート全体の最適化につながるイノベーション

(プレスリリース(1742) 7月2日付)

(<https://www.bmwi.de/Redaktion/DE/Pressemitteilungen/2020/20200702-foerderaufruf-des-bmwi-wettbewerb-elektromobilitaet-und-integration-in-das-energiesystem.html>)

キャンピングカーにコロナ特需

ドイツ連邦陸運局(KBA)のデータをもとに連邦統計局が2日発表したキャンピングカーの5月の国内新車登録台数は前年同月比29%強増の1万460台へと拡大した。乗用車新車登録が約50%減少するなかで、キャンピングカーは唯一、登録増を記録している。新型コロナウイルスの感染リスクを背景に宿泊施設を避けて旅行することを考える消費者が増えていることが反映された格好だ。

キャンピングカーの人気は数年前から高まっている。国内登録残数は現在59万台弱で、15年の39万台強から50%増加した。15年以降は一貫して増え続けており、15年と16年は前年比で各6%、17年と18年は同8%、19年は9%伸びた。

キャンピングカーの輸出台数をみると、今年1～4月は8,900台強で、前年同期を19%下回った。ただ、中期的には増加傾向にあり、19年は15年の2万1,500台弱から2万9,600台強へと3分

の1以上、拡大した。最大の輸出先国はフランスで、5,400台弱だった。これにスイスが3,600台強で続く。

(連邦統計局(1743) 7月2日付)

(https://www.destatis.de/DE/Presse/Pressemitteilungen/2020/07/PD20_N033_51.html)

自動車業界の先行き見通し大幅改善

Ifo経済研究所は2日、独自自動車業界の先行き見通しが大幅に改善していることを明らかにした。今後6カ月の見通しを示す期待指数(業績「改善」を予想する企業の割合から「悪化」を予想する企業の割合を引いた数値=DI)は前月のマイナス11.9ポイントからプラス27.7ポイントへと上昇。7カ月ぶりにプラスの領域へと戻った。

現状判断を示す指数はマイナス81.8ポイント。前月のマイナス85.6ポイントからやや改善したものの、状況は依然として厳しい。雇用計画に関する指数はマイナス54.4ポイントとなり、前月のマイナス50.5ポイントから悪化した。

新規受注に関する指数はプラス52.2ポイントとなり、前月のマイナス80.6ポイントから132.8ポイント改善した。改善幅は統計を開始した1991年以降で最大だ。受注残高に関する指数もマイナス65.7ポイントからプラス15.2ポイントへと上昇し、13カ月ぶりにプラスの領域に戻った。生産見通しに関する指数は前月のプラス23.5ポイントからプラス50.0ポイントへと増加し、2カ月連続で改善。輸出見通しに関する指数もマイナス8.7ポイントからプラス16.8ポイントへと上昇した。

(プレスリリース(1744) 7月2日付)

(<https://www.ifo.de/node/56516>)

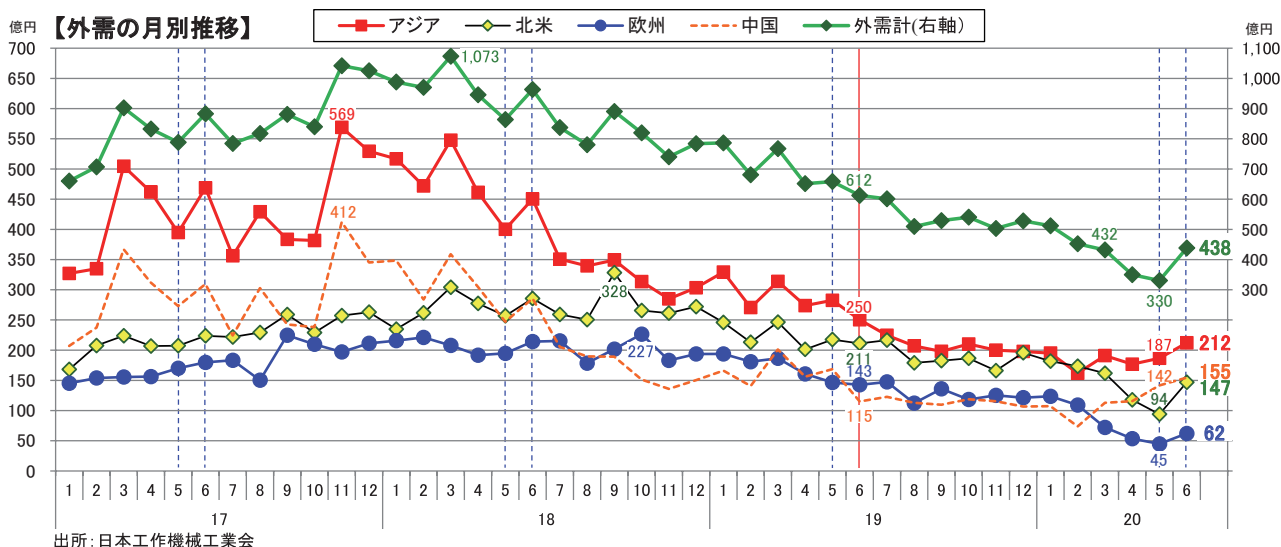
5. 日工会外需状況(6月)

外需【6月分】

438.3億円（前月比+32.6% 前年同月比△28.4%）

外需総額

- ・3カ月ぶりの400億円超。6月の450億円割れは、2009年（205.1億円）以来11年ぶり
- ・前月比 6カ月ぶり増加 前年同月比 21カ月連続減少
- ・中国の増加が続き、欧州・北米でも前月比増加し、前月比は6カ月ぶりの増加



外需【6月分】

主要3極別受注

①アジア

アジア計は、東アジア、その他アジアとも前月比増加し、8カ月ぶりの200億円超

- 東アジアは、中国の増加で13カ月ぶりの170億円超 27カ月ぶりの前年同月比増加
- 中国は、13カ月ぶりの150億円超 28カ月ぶりの前年同月比増加
- その他アジアは、4カ月ぶりの前月比増加も 3カ月連続の40億円割れと低水準
- インドは、自動車の増加により、5カ月ぶりの15億円超

②欧州

欧州計は、2カ月ぶりの50億円超。6月の100億円割れは2010年（75.1億円）以来10年ぶり

- ドイツは3カ月ぶりの10億円超
- イタリアは5カ月連続の10億円割れ

③北米

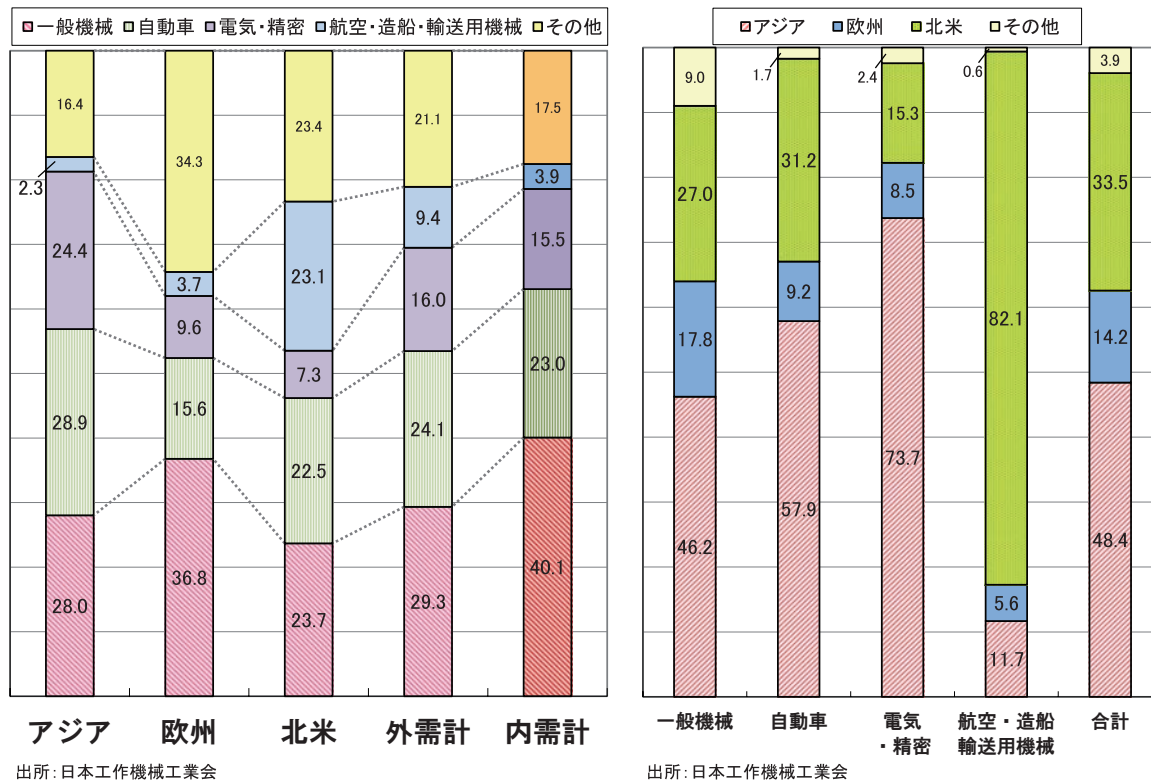
北米計は、2カ月ぶりの100億円超。6月の150億円割れは2010年（120.4億円）以来10年ぶり

- アメリカは、4カ月ぶりの130億円超
- メキシコは、8カ月ぶりの5億円割れ

国・地域	受注額 (億円)	前月比 (%)	前年同月比 (%)
アジア	212.1	+13.7 2カ月連続増加	△15.3 25カ月連続減少
東アジア	178.2	+6.3 2カ月連続増加	+10.5 27カ月ぶり増加
韓国	13.3	+41.7 2カ月ぶり増加	△43.4 5カ月連続減少
中国	154.5	+9.0 4カ月連続増加	+34.2 28カ月ぶり増加
その他アジア	34.0	+78.0 4カ月ぶり増加	△61.9 17カ月連続減少
インド	15.0	+236.0 5カ月ぶり増加	△61.6 12カ月連続減少
欧州	62.1	+38.8 5カ月ぶり増加	△56.5 20カ月連続減少
ドイツ	10.8	+28.6 2カ月連続増加	△71.1 20カ月連続減少
イタリア	8.3	+99.0 2カ月連続増加	△59.3 22カ月連続減少
北米	146.8	+56.1 6カ月ぶり増加	△30.5 17カ月連続減少
アメリカ	139.8	+67.0 6カ月ぶり増加	△25.9 18カ月連続減少
メキシコ	3.6	△52.3 2カ月ぶり減少	△55.2 3カ月連続減少

外需【6月分】

主要3極別・業種別受注構成



外需 地域別構成の推移

6月は、アジアのシェアが3カ月ぶりに50%を下回り、北米のシェアが2カ月ぶりに30%超

